



---

## Group Calendar 2011

インストールマニュアル

OnTime Group Calendar 2011 version 2.1 第0稿

## OnTime Group Calendar 2011

Version 2.0

## インストール マニュアル

このマニュアルの主な対象は、Lotus Notes / Domino データベースを管理する経験を持っているドミノ管理者とユーザーです。したがって、このマニュアルの読者は、Domino 環境をご存じで Lotus Domino Administrator クライアントを使用してサーバー文書を設定する方法を知っていることを期待されています。

マニュアルでは、以下のフォントの表記規則に従います。

- **太字** - グループ名
- **太字で下線付き** (ハイパーリンク) - セクション/章
- **[括弧内の太字]** - 関数、ボタン
- *斜体* - 情報、フィールド
- **[括弧内の車体]** - チェックボックス、アクセス権

- ・ 本ソフトは複数言語対応しているため、管理者画面は全て英語で作成されています。
- ・ マニュアル内ではできるだけ日本語と英語の併記を心がけて説明をしています。
- ・ 画像は原本の素材を利用していますが、順次日本語版に切り替えます。
- ・ マニュアル内に **Discovery 2011** という表記が出てきますが、旧バージョン製品です。  
下位互換性のためマニュアル上は記載していますが日本では未対応でサポートもいたしません。

## 目次

OnTime Group Calendar 2011 について	3
GC 2011 のトポロジ	3
システム要件	5
GC 2011 をインストールする前に	6
GC 2011 のインストール	7
単一の GC 2011 サーバーのインストール	8
複数の GC 2011 サーバーのインストール	11
GC 2011 の設定	12
ユーザーの追加	12
名称/グループ/階層によるユーザーの選択	12
メールサーバーによるユーザーの選択	12
ユーザー名の表示	12
Base options (基本オプション)	12
Directory of templates (テンプレートのディレクトリ)	12
Keep/sync back (過去の予定の同期)	13
Advanced Options (詳細オプション)	13
Schedule Information Only (スケジュール情報のみ)	13
Disable ACLs (ACL を無効にする)	13
Encrypt Texts (テキストの暗号化)	13
Discovery	14
Business card photo source (名刺写真の取り込み元)	14
ユーザー情	14
凡例	15

ユーザーカテゴリ	17
ルールや委任プロファイルを介してのアクセス制御	18
個人カレンダーのカレンダー プリファレンスを使用したアクセス権の付与	19
GC 2011 のルールを使用したアクセス権の付与	19
表示グループ	21
静的グループ	21
動的グループ	22
アプリケーション	23
デフォルト設定	23
GC 2011 Broadcast のセットアップ	24
Broadcast カレンダーエントリを作成する	24
コレクション	25
Notes 2011 カレンダーインターフェイスのインストール	26
ウィジェット カタログ内のウィジェット XML をホストする	26
内部ネットワークで更新サイトをホストする	26
ウィジェット XML を変更する	27
ハードディスクからのウィジェットのインストール	27
手動でのウィジェットカタログからのインストール	28
Lotus Domino のポリシーを使用したウィジェットカタログからのインストール	29
アンインストール	29
ドラッグ&ドロップ後のアンインストール	29
ウィジェット カタログ利用後のアンインストール	30
“マイウィジェット”サイドバー パネルの有効化	30
トラブルシューティング	31
ログの有効化	31
ログの無効化	31
トレースログの行番号の有効化	31
Discovery 2011 のセットアップ	32
GC 2011 Web のインストール	33
インストール手順	33
iNotes のウィジェットとしての GC 2011 Web の有効化	33
GC 2011 Mobile のインストール	35
インストール手順	35
デバイスからアプリケーションにアクセスする	35
GC 2011 の以前のバージョンからのアップグレード	36
付録 A - ACL のセットアップ	38
付録 B - コンソールコマンド	39
別のパスから GC 2011 のロード	39
付録 C - Linux プラットフォームでのインストール	40
サポート	41

## OnTime Group Calendar 2011 について

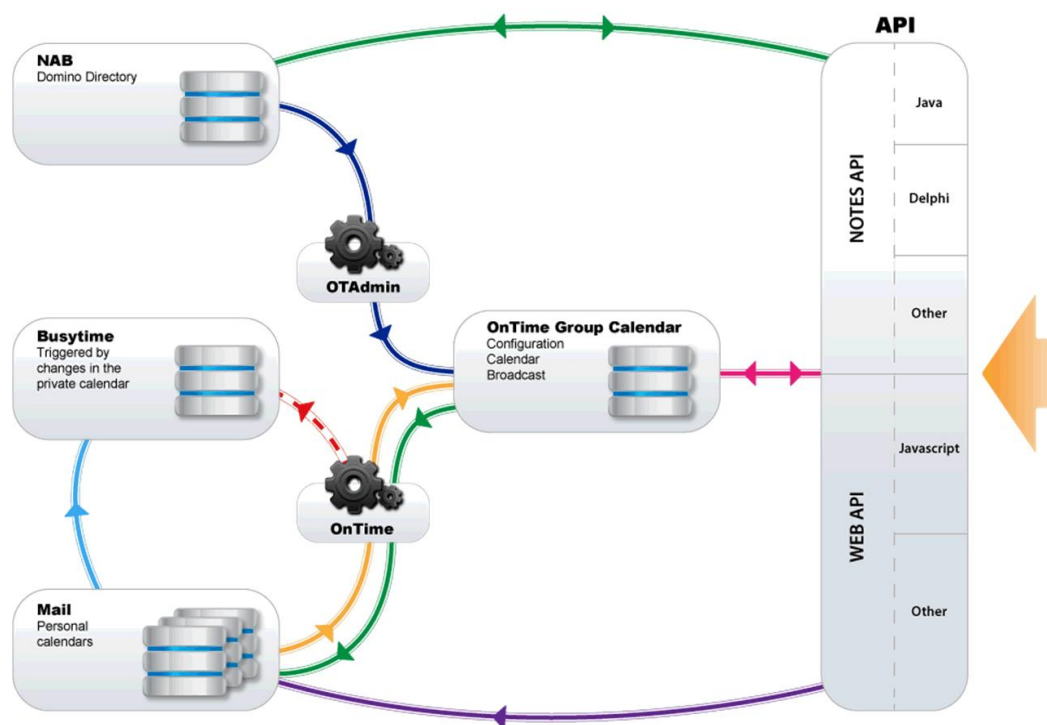
OnTime Group Calendar 2011（以下、GC 2011）は、メンバーがどこにいて、今何をやっているか、これから何をやる予定かなどの全体像をあなたの組織に提供します。さらに、GC 2011 は豊富なグラフィカルなインターフェイス、シンプルなアクセスと優れたサーバの互換性を提供します。

GC 2011 は Lotus Notes データベースのセットとサーバタスクによって設定および管理されており、ユーザーが Lotus Notes カレンダーで作成、更新、または削除した個人用のカレンダーエントリを、ほぼリアルタイムで Group Calendar へ更新することを可能にしています。OnTime の各データベースは、GC 2011 ソリューションが動作するために、すべての ACL を正しく構成しておく必要があります。

（ACL の詳細については、[付録 A - ACL のセットアップ](#)を参照してください）

### GC 2011 のトポロジ

次の図は、GC 2011 の全体的なトポロジを示します。



以下の表は、GC 2011 の各データベースと、ソリューション全体の中での個々の目的を示しています。



#### OnTime Group Calendar (GC 2011 設定データベース)

これは、GC 2011 の中核となる設定データベースです。このデータベースで管理者が下記を設定する必要があります。

- グローバル設定
- サーバーの設定
- ロールを介しての権限の委任
- 表示グループの指定
- コントロールや凡例の指定
- 既定のアプリケーション設定の指定

このデータベースは、管理者のみにより使用されます。



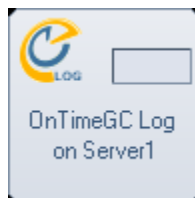
#### OnTime API (オンタイム API)

API のデータベースは、大規模なデータフローに起因するカレンダーのコンフィグレーションへの過負荷を防止するアプリケーションです。



#### OnTime Log (オンタイム ログ)

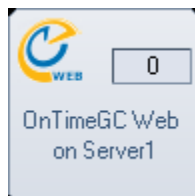
このデータベースはすべてのエラーおよびパフォーマンス測定値を追跡するために使用されています。



#### OnTime Broadcast (オンタイム ブロードキャスト)

OnTime Broadcast は、幾人かのまたはすべての従業員のカレンダーにイベントや祝日を配信（プッシュ）することができるカレンダーデータベースです。

このデータベースは、通常は管理スタッフ（受付や秘書）によって使用されます。



#### OnTime Web (オンタイム ウェブ)

この Web データベースは、HTTP タスクを介して GC 2011 データベースにアクセスするための設定を構成するために使用されます。

このデータベースは、GC 2011 Mobile のインストールのためにも使用されます。

[GC 2011 Web のインストール](#)を参照してください。

## システム要件

GC 2011 を実行するには、Lotus Domino 7.x かそれ以降のサーバーが必要です。

GC 2011 を実行するために、OnTime Group Calendar 2011 とメールサーバーとの同期を行う Lotus Domino サーバは、IBM Lotus がサポートしているバージョンの Microsoft Windows オペレーティングシステム上で実行する必要があります。中心となる OnTime サーバタスクは Microsoft Windows オペレーティング システムまたはサポートされている Linux 上で実行する必要がありますが、その他のメールサーバーは Lotus Domino でサポートされている他のオペレーティング システムで稼働していてもデータの収集および同期ができません。

以下の表は、それぞれのカレンダー・ユーザーインターフェイスの要件です。GC 2011 は記載されているよりも以前のロータスノーツのバージョンをサポートしていません。

	Notes 6.5	Notes 7.x	Notes 8.0.x Basic	Notes 8.0.x Standard	Notes 8.5.x Basic	Notes 8.5.x Standard
Notes 2011						√
Discovery 2011 (日本未対応)	√	√	√	√	√	√

Web 2011 - サポートされているインターネットブラウザ			
Internet Explorer	Mozilla FireFox	Google Chrome	サファリ (Mac および Windows)
7.0 またはそれ以降	3.6 またはそれ以降	11.0 またはそれ以降	5.0 またはそれ以降

Mobile 2011 は、次のものがが必要です。

- マルチタッチジェスチャーのスマートフォン
- JavaScript の有効化
- クッキーの有効化
- 320 x 480 ピクセル (およそ標準 iPhone 3G サイズ)

Notes 8.0.x Standard 版は、新しい目標、新しい技術の集大成であり、既存の Notes の機能 (メール、予定表、連絡先、等) を強化するための Java ベースの Eclipse テクノロジーを利用して、新しい機能を提供します。サイドバーなどなど、Eclipse のアーキテクチャはノートに、このような生産性ツールとコンポジットアプリケーションなどの他のアプリケーションの統合を可能にします。GC 2011 - Notes クライアントは、この先進的なプラットフォームをフルに活用しますが、サポートは 8.5.x 以上となります。

Notes 8 (Basic 版) は Notes 7 クライアントの使用感に非常によく似ています。これは、クライアント・マシンのメモリが Standard 版を実行するには低すぎである場合に使用できません。Notes の以前のリリースと同様、Basic 版を実行するクライアントは、Domino サーバー上に存在するアプリケーションにのみアクセスすることができ、組み込み Lotus Sametime コンタクトの 3.x の実装のみを使用することができます、残念ですが GC2011 は稼働しません。

## GC 2011 をインストールする前に

インストールプロセスを開始する前に、以下のすべてのファイルが zip ファイルに存在することを確認してください。

テンプレートファイル：	
ontimegc.ntf	GC 2011 の設定テンプレート
ontimegcapi.ntf	API テンプレート
ontimegclog.ntf	ログ テンプレート
ontimegcbroadcast.ntf	Broadcast テンプレート (GC 2011 を実行するうえで必須ではない)
ontimegcweb.ntf	Web や mobile 設定テンプレート (GC 2011 を実行するうえで必須ではない)
カレンダークライアント：	
Widget Installer (HTTP) - OnTime Group Calendar 2011.xml (OnTime Notes 2011 calendar interface)	
Updatesite_Notes2011_x.y.z.zip	

GC 2011 で必要なライセンスキーは、日本では <https://ontimesuite.jp> のサイトから入手することができます。

GC 2011 のインストールを完了するための手順は次のとおりです。サーバーは、すべてのユーザーのメールファイルに [編集者] 以上のアクセス権を持っている必要があります。また Domino ディレクトリ (names.nsf) のサーバー文書で、“制限なしで署名または実行”で許可されている必要があります。

Programmability Restrictions	Who can -
Sign or run unrestricted methods and operations:	LocalDomainAdmins Server1/OnTime
Sign agents to run on behalf of someone else:	LocalDomainAdmins
Sign agents or XPages to run on behalf of the invoker:	LocalDomainAdmins
Sign or run restricted LotusScriptJava agents:	LocalDomainAdmins

また、GC 2011 は、他のメールサーバからのデータを同期させるように構成されている場合、GC 2011 サーバーが同期されるそれら他のメールサーバーによって信頼されている必要があります。

Server Access	Who can -
Access server:	All users can access this server
Not access server:	
Create databases & templates:	LocalDomainAdmins LocalDomainServers
Create new replicas:	LocalDomainAdmins LocalDomainServers
Create master templates:	LocalDomainAdmins LocalDomainServers
Allowed to use monitors:	*
Not allowed to use monitors:	
Trusted servers:	Server1/OnTime

GC 2011 をインストールする前に、他の人のカレンダー情報を見たり、他の人に代わりにカレンダーの予定を作成できるロールと権限の割り当てを、非常に慎重に計画することをお勧めします。権限の割り当ては、もちろん、後の段階で変更することができますが、インストールを開始する前に ロールおよび委任プロファイルの介してのアクセス制御 を読んで恩恵を受けることができます。

## GC 2011 のインストール

GC 2011 は、1 台の OnTime Group Calendar 2011 サーバーのインストール（以下、GC 2011 サーバー）も複数の GC 2011 サーバーでの環境もどちらのシナリオでインストールおよび配備することもできる非常に柔軟なソリューションです。

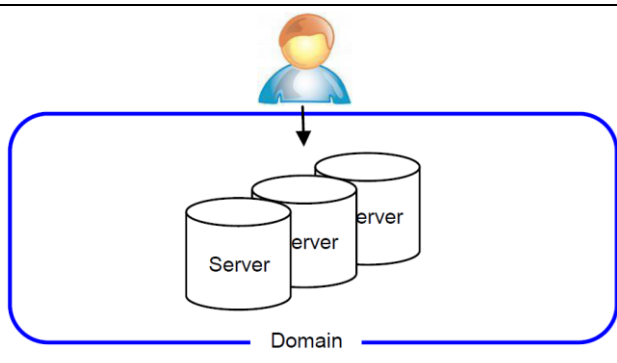
組織の要件に最も適したシナリオを選択し、記載されているインストール手順に従ってください。

GC 2011 サーバーの定義：これらは、GC 2011 がインストールされているサーバーです。これらのサーバーは、前述の適切なバージョンの Lotus Domino と Microsoft Windows と Linux を実行している、ドメイン内の任意のタイプの Lotus Domino サーバーを指定できます。OnTime がデータを収集するメールサーバーは、Lotus Domino がサポートするどのオペレーティングシステム上でも実行することができます。

### 1 台の GC 2011 サーバーのインストール

1 つのサーバ上に GC 2011 のインストール - 1 つまたは複数のメールサーバーからカレンダーデータを収集します。

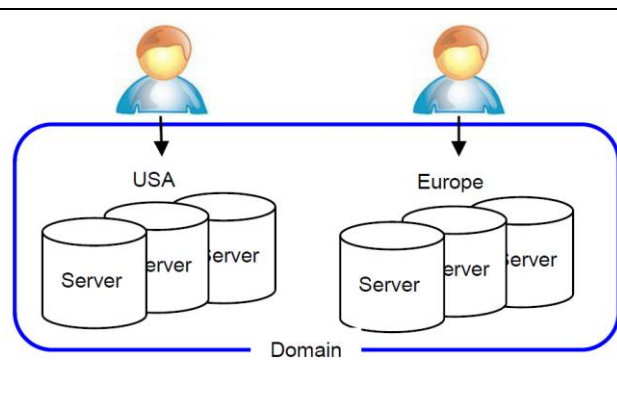
インストールするには、ステップ 1 から 7 を実施してください。



### 複数の GC 2011 サーバーのインストール

1 つまたは複数のメールサーバから、複数のレプリケートされた GC 2011 サーバーに、カレンダーデータを収集するインストールです。

インストールするには、ステップ 1 から 4 を実施してください。

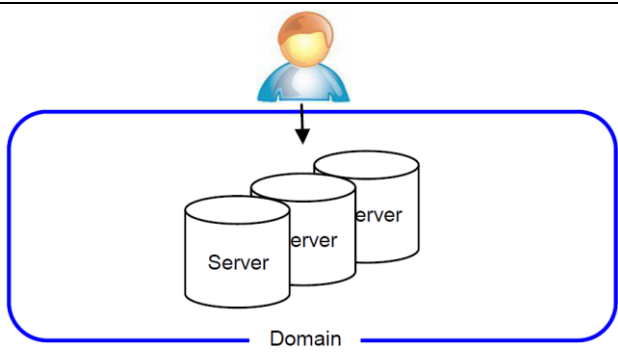




## 1 台の GC 2011 サーバーのインストール

### 1 台の GC 2011 サーバーのインストール

1 つのサーバ上に GC 2011 のインストールと 1 つまたは複数のメールサーバーからカレンダーデータを収集します。



### ステップ 1. テンプレート

最初のステップは、Domino データディレクトリにテンプレートファイルをコピーします。

- ontimegc.ntf                    - 設定データベースのテンプレート
- ontimegclg.ntf                - ログデータベース用のテンプレート
- ontimegcapi.ntf               - API データベースのテンプレート
- ontimegcbroadcast.ntf       - Broadcast データベース
- ontimegcweb.ntf               - Web および Mobile データベース用テンプレート

Domino データディレクトリの下で "ontime" フォルダにテンプレートファイルを配置することをお勧めします。別の場所を選択する場合、後で [Global Configuration] 文書で、テンプレートのパスを編集することを忘れないでください。

### ステップ 2. テンプレートの署名

データディレクトリにテンプレートをコピーした後、適切な ID を使用してテンプレートに署名します。サーバー ID で OnTime GC 2011 のテンプレートに署名することをお勧めします。

### ステップ 3. OnTime Group Calendar (以下 OnTime GC 設定) データベースの作成

OnTime GC 設定データベースを作成します。このデータベースのテンプレートとして ontimegc.ntf を使用します。テンプレートのタイトルは、"NTF: OnTime Group Calendar 2011 Config ver. #.#.#" です。(＃は現在のバージョン番号)

[テンプレートから設計を引き継ぐ] がデフォルトでチェックされています。このチェックは外さなければなりません。

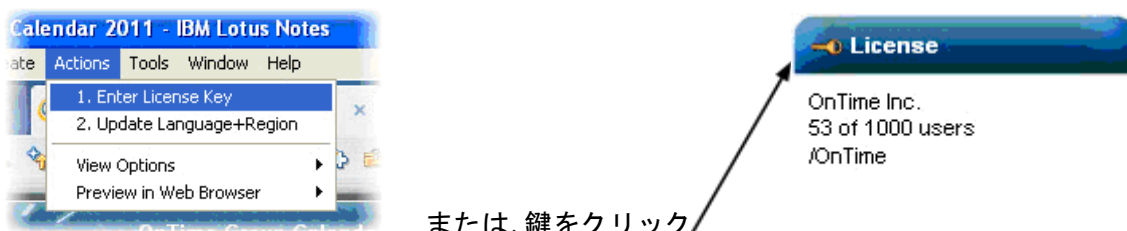
ACL : 付録 A - ACL のセットアップ を参照してください。

### ステップ 4. ライセンス キー

GC 2011 のサーバータスクやカレンダー・エントリの同期を実行するには、ライセンスキーが必要です。

GC 2011 のライセンスキーは、日本では <https://ontimesuite.jp> から製品を購入すると送られてきますし、試用版をダウンロードしたときに受け取った一時的なトライアルキーを使用することもできます。試用版は、試用期間の制限がある以外はフルバージョンと同じです。

GC 2011 設定データベースで[アクション]メニューから “1. Enter License Key” を選ぶか、または鍵のアイコンをクリックしてください。



ライセンスキーは、サーバーのノーツ認証者の名前が含まれており、このノーツ認証者で作成されているサーバー上でのみ使用できます。

ライセンスキーには、ライセンスされているユーザー数に関する情報も含まれます。OnTime GC 2011 設定 DB で有効なユーザー数が、ユーザー、会議室とリソースのライセンス数を超えると、GC 2011 のサーバータスクは同期をその数で停止します。

### ステップ 5. グローバル設定文書の作成

GC 2011 データベース内の[Global Settings]ビューを開きます。Global Settings を初めて開いたときに、グローバル設定文書が自動的に作成されます。

– “Members” フィールドでは、サーバ上のすべてのユーザーがデフォルトで含まれています。この設定については、このマニュアルの後半で詳細に説明します。

Users in Group Calendar	
Select by	<input checked="" type="radio"/> By Names/Groups/Hierarchy <input type="radio"/> By Mail Server
Members	<input type="text" value="*"/>
Excluded	<input type="text" value="Belinda Harrison/OnTime"/> <input type="text" value="Peter Jackson/OnTime"/>

– GC 2011 のテンプレートを配置したディレクトリを指定します。

Base Options	
Directory of Templates	<input type="text" value="ortime"/>

– [Save & Close] をクリックして文書を保存します。

注：このステップは、変更が行われていない場合でも、後で同期を行うために重要です。

### ステップ 6. サーバー設定文書の作成

GC データベース内の[Server Settings]ビューを開き、サーバー設定文書を追加します。

– [Add Server] ボタンをクリックして同期するサーバを入力します。

Synchronisation Server	<input type="text" value="Server1/OnTime"/> @ OnTime
OnTime GC Admin Server for this domain	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Servers being monitored for synchronisation	<input type="text" value="Server2/OnTime"/> <input type="text" value="Server3/OnTime"/>

– [Servers being monitored for synchronization] フィールドに GC 2011 がカレンダーデータの取得のため監視するサーバ（複数可）を指定します。

GC 2011 をインストールするサーバがメールファイルを保持している場合、このリストにそのサーバを含めることを忘れないでください。

- 'API Databases' の Filepath フィールドに、GC 2011 の API データベースのファイルパスを指定します。

Api Database	
Filepath	『ontime\ontimegcApi.nsf』 <input type="button" value="Open"/>
HTTP Token Timeout	『24』hours
Users allowed to run 'OnBehalfOf'	『Lars Schorling/OnTime』▼

- 必要に応じて、GC 2011Broadcast のファイルパスを指定します。デフォルトでは、以下の例が入力されています。

Broadcast Database	
Filepath	『ontime\ontimegcBroadcast.nsf』 <input type="button" value="Open"/>

- GC 2011 でトラブルシューティングするには、GC ログ・ファイルが必要です。ログファイルはご使用の環境に応じて、多くのディスクスペースを取る可能性があることと、OnTime の動作には必ずしも必要ではないことにご注意ください。ログを記録するか、しないかを選び、もしログを有効にするなら、ログデータベースの場所を指定するかどうかを選択します。

Log Database	
Log to	<input type="radio"/> No Log <input type="radio"/> Console <input checked="" type="radio"/> Database
Log db. filename	『OnTime\ontimegcLog.nsf』 <input type="button" value="Open"/>
Keep Entries	『3』days

- [Save & Close] をクリックして文書を保存します。文書が閉じられる前に、OnTime API データベース、OnTime Broadcast データベースと OnTime ログデータベース（データベースにログを記録することを選択している場合）を作成するかどうかを尋ねられます。[Yes] をクリックします。データベースは、その後、指定したディレクトリに自動的に作成されます。

## ステップ 7. タスクのインストール/更新

- 作成したばかりの Server Ssettings 文書内の右上隅にある [Install/Update Task] ボタンをクリックして、サーバータスクをロードします。

- タスクがインストールされると、NOTES. INI ファイルにサーバータスクが追加されます。

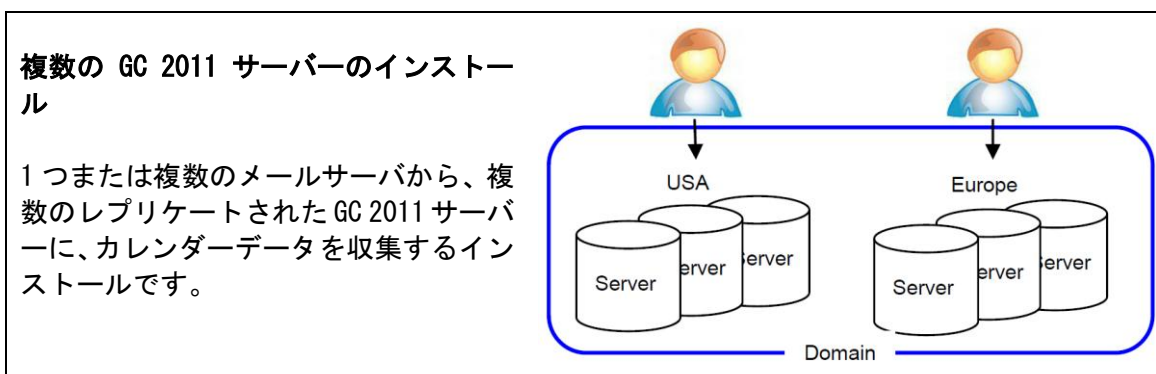
注：[Install/Update Task] 機能は、Microsoft Windows オペレーティングシステムのみをサポートしています。Linux OS 上で実行する場合は [付録 C - Linux プラットフォームでのインストール](#) を参照してください。

## ステップ 8. サーバータスク コマンドの実行

サーバータスクが正常にインストールされたあと、ユーザーおよび初期設定を適用するには、次のコマンドを実行してください。[Server Settings] から [OnTimeGC Commands] ボタンをクリックしてを表示し、[Admin] コマンドを、その後 [FullSync] コマンドを実行してください。

注：[FullSync] コマンドは、ご使用の環境によって多くのユーザーや文書が含まれる場合には数分かかることがあります。

## 複数の GC 2011 サーバーのインストール



### ステップ 1. GC 2011 サーバーの追加

追加する各 GC 2011 Server ごとに、シングル GC 2011 Server のインストールのステップ 6 のサーバー設定文書の作成作業を繰り返します。

### ステップ 2. レプリケーション

同期先サーバに GC2011 データベースを複製します。

### ステップ 3. 追加のサーバー上でのタスクのインストール/更新

- ほかの GC 2011 サーバー上でタスクを実行中にするには、右上隅にある **[Install/Update Task]** ボタンをクリックしてサーバータスクをロードします。

- ・タスクがインストールされると、NOTES. INI ファイルにサーバータスクが追加されます。

注： **[Install/Update Task]** 機能は、Microsoft Windows オペレーティングシステムのみをサポートしています。Linux OS 上で実行する場合は 付録 C - Linux プラットフォームでのインストール を参照してください。

### ステップ 4. サーバータスク コマンドの実行

サーバー タスクが正常にインストールされたら、ユーザーおよび初期設定を適用するため、次のコマンドを実行してください： **[Server Settings]** ビューから **[OnTimeGC Commands]** ボタンをクリックし、 **[Admin]** コマンド、その後 **[FullSync]** コマンドを実行してください。

注： **[FullSync]** コマンドは、ご使用の環境で多くのユーザーや文書が含まれる場合には数分かかることがあります。

## GC 2011 の設定

すべての設定は、Group Calendar データベースから行われています。即座に行われた変更を適用するには、[Server Settings]ビューから[OnTimeGC Commands] [Admin]アクションを実行してください。

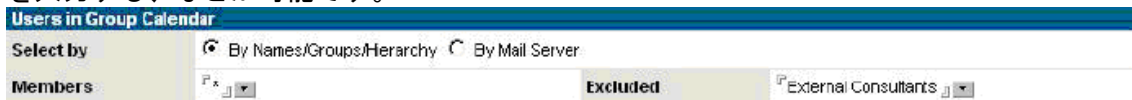
注：[OnTimeGC.Admin]タスクは 1 時間ごとに実行されるようにスケジュールされているので、手動でタスクコマンドを実行する必要はありません。

### ユーザーを追加する

ユーザーを追加するには、[Global Settings]文書を開きます。

#### 名称/グループ/階層によるユーザーの選択

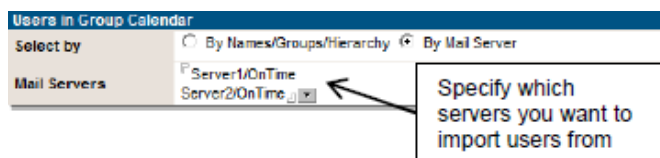
名称/グループ/階層によってユーザーを追加するときは、[Members]フィールドに、アスタリスク (\*) を入力してドメイン内のすべてのユーザーをインポートする、単一のユーザー名を入力する、Lotus Domino ディレクトリのグループ、\* /日本/ Acme のように階層構造を入力する、などが可能です。



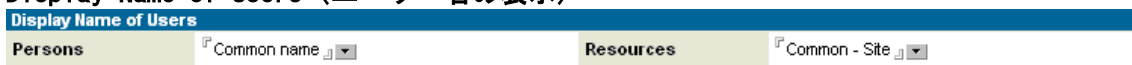
Lotus Domino Directory のグループが、Group Calendar に追加したいユーザーに 100% マッチしない場合は、[exclude]で特定のユーザー/グループを除外することも可能です。

#### メールサーバーによるユーザーの選択

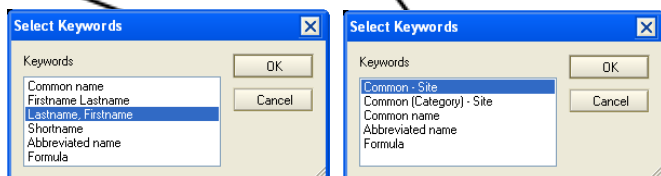
メールサーバーによるユーザーの指定をするときには、指定されたサーバーのすべてのユーザーが GC 2011 に含まれます。メールサーバからすべてのユーザー全体を追加するとき、特定のユーザーまたはグループを除外することができないことに注意してください。



#### Display Name of Users (ユーザー名の表示)



GC 2011 のカレンダーインターフェイスではユーザー名とリソース名を様々な方法で表示することができます。ユーザーの名前の表示方法は、[Display Name of Users]セクションで指定することができます。



注：別名を表示する際は[Formula]を選択し、以下のように指定。

```
@If(AltFullName="" ; @name ([CN] ; FullName) ; @name ([CN] ; AltFullName))
```

### Base options (基本オプション)

#### テンプレートのディレクトリ

GC 2011 のテンプレートを配置したディレクトリを指定します。デフォルトでは、OnTime テンプレートの推奨されるディレクトリである "ontime"が入っています。



### Keep/sync back (過去の予定の同期)

グローバル設定文書では、GC 2011 がカレンダー アクティビティを何日分保持するかを設定することができます。これは、指定した日数の過去の予定を GC 2011 が蓄え、同期することを意味します。これは、指定した時間枠の予定が同期されていることをも意味します。ユーザーが過去のカレンダーアクティビティを編集しその予定が時間枠内であれば、予定の変更が GC 2011 に同期されます。

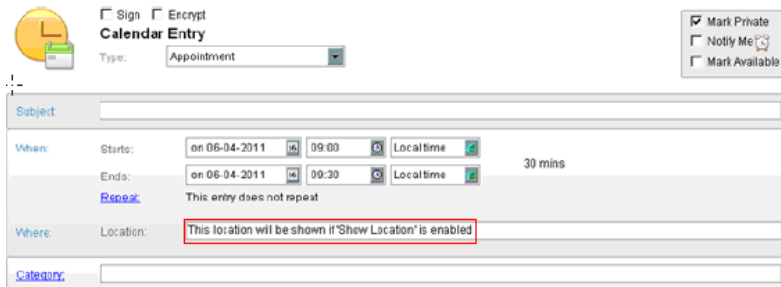
Base Options	
Directory of Templates	ortime
Keep/Sync back	14 days

GC 2011 は、OnTime GC 設定データベースに設定されているユーザーのカレンダーは 10 年先までの将来のすべての予定を取り込み表示します。

### Advanced options (詳細オプション)

#### Schedule Information Only (スケジュール情報のみ)

従業員は自分のカレンダーのカレンダーアクティビティを作成するとき、彼らは[非公開]な予定として活動をマークするオプションがあります。



Calendar Entry

Type: Appointment

Sign  Encrypt

Mark Private  
 Notify Me  
 Mark Available

Subject: \_\_\_\_\_

When: Starts: on 06-04-2011 09:00 Localtime 30 mins  
 Ends: on 06-04-2011 09:30 Localtime  
 Repeat: This entry does not repeat

Where: Location: This location will be shown if 'Show Location' is enabled

Category: \_\_\_\_\_

[Global Configuration] 文書では、ユーザが[非公開]に設定しても、[ロケーション]は見えるように設定するオプションを管理者に提供しています。これは、[Show Location]を有効にすることによって行われます。

Advanced Options	
Schedule information only	<input checked="" type="checkbox"/> Show Location
Disable ACLs	<input type="checkbox"/> Yes

#### Disable ACLs (ACL を無効にする)

ACL を無効にするオプションは、個々のメールデータベースの ACL を上書きする許可を GC 2011 に与えます。メールデータベース上の ACL を無効にすると、GC 2011 のロールのシステムの使用を最適化されます。

Schedule information only	<input type="checkbox"/> Show Location
Disable ACLs	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Encrypt Texts	<input type="checkbox"/> Yes

注：個人カレンダーのカレンダー プリファレンスを使用したアクセス権の付与のセクションを参照してください。

#### Encrypt Texts (テキストの暗号化)

いくつかのカレンダーエントリに機密情報が含まれる場合がある環境では、GC 2011 に内部データベース構造内のすべてのテキストデータを暗号化し、権限のないユーザーがデータにアクセスすることを禁止することが可能です。暗号の有効化は、全体のパフォーマンスにマイナスの影響を持っています。したがって、この機能はセキュリティが非常に重要なシナリオでのみ有効にする必要があります。

Disable ACLs	<input type="checkbox"/> Yes
Encrypt Texts	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Discovery	<input type="checkbox"/> Launch Only (No detach)

**Discovery (日本未対応です)**

この項は旧バージョンの下位互換機能なので日本未対応です。

**Business card photo source (名刺写真の取り込み元) の指定**

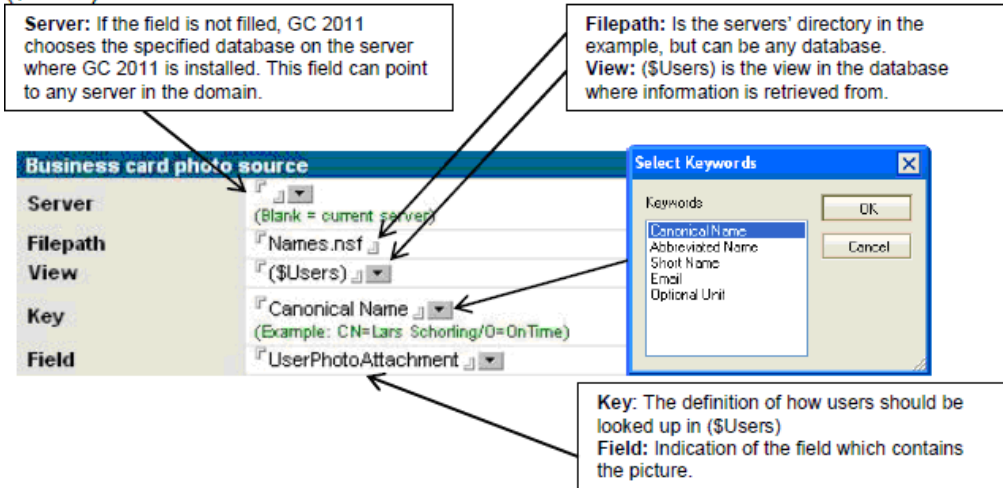
GC 2011 は従業員のカレンダー アクティビティを表示する際、同時にその人の写真を他の有用な情報と共に表示することができます。表示される写真は、ビジネスカードの写真のソースから来ています。ビジネスカードの写真のソースは、個々の従業員の写真を保持する Domino データベースです。独自に準備された従業員データベースにすることも、Domino ディレクトリ (names.nsf) にすることができます。

GC 2011 が従業員のカレンダー アクティビティを表示する際、写真を読み込み他の有用な情報と共に表示することができます。

以下の例ではサーバのディレクトリを使用していますが、任意の Lotus Notes データベースを利用することができます。

データベース内の (\$Users) は、ユーザー情報を参照するビュー名です。

(\$Users) is the view in the database where information can be found.



**Server:** If the field is not filled, GC 2011 chooses the specified database on the server where GC 2011 is installed. This field can point to any server in the domain.

**Filepath:** Is the servers' directory in the example, but can be any database.

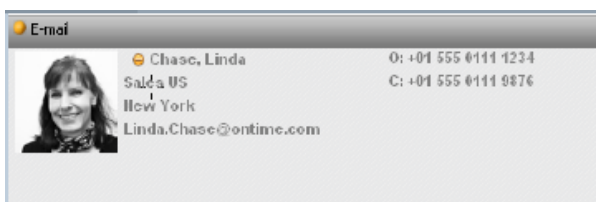
**View:** (\$Users) is the view in the database where information is retrieved from.

**Key:** The definition of how users should be looked up in (\$Users)

**Field:** Indication of the field which contains the picture.

The screenshot shows the 'Business card photo source' dialog with fields for Server, Filepath, View, Key, and Field. A 'Select Keywords' dialog is also shown, listing Canonical Name, Abbreviated Name, Short Name, Email, and Optional Unit.

ユーザーかユーザーのアクティビティが Notes 2011 インターフェイスで選択されている場合、その人の情報が左下に表示されます。その人の写真は上記の指定されたデータベースから読み込まれます。

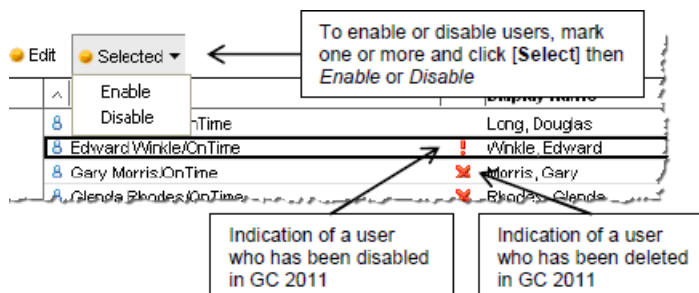


残りの情報は、Domino ディレクトリのユーザー文書から取得されます。

サポートされているイメージファイル形式は、添付またはインラインのいずれかの .jpg、.gif (アニメーション以外) または .bmp です。

**ユーザー情報**

ユーザー文書は個人の情報を要約で確認するために使用されます。あるユーザーを無効にすることによって、そのユーザーのライセンスを無効にすれば、そのライセンスを別のユーザーのために利用できるようになります。



To enable or disable users, mark one or more and click [Select] then Enable or Disable

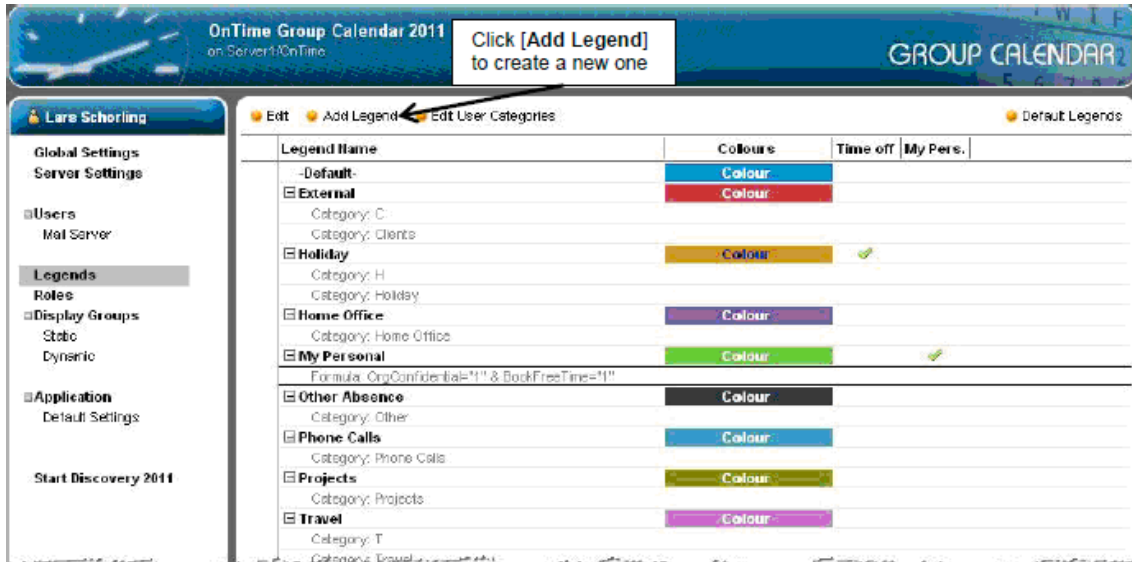
Indication of a user who has been disabled in GC 2011

Indication of a user who has been deleted in GC 2011

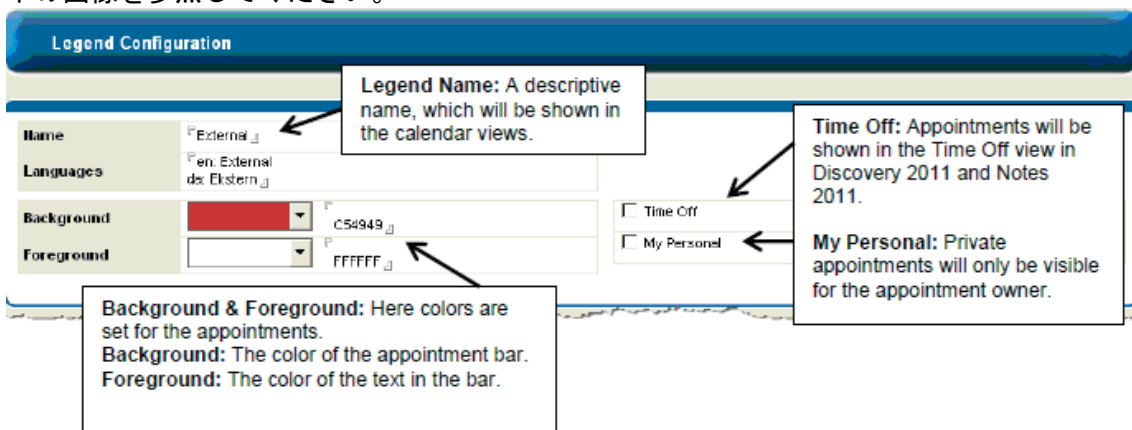
The screenshot shows a list of users with columns for Name, Status, and Action. The 'Status' column has icons for 'Enable' and 'Disable'. The 'Action' column has icons for 'Select', 'Delete', and 'Refresh'. The list includes: Long, Douglas; Winkle, Edward; Morris, Gary; Rhodes, Glenda.

## 凡例

カレンダーのエントリの各タイプは、Group Calendar のインターフェイスに独自のカテゴリ、アイコン、バーの色を持つことができます。この機能は、カレンダーインターフェイスのユーザに他のメンバーの予定の優れた一覧性と、種類によって視覚的にフィルタリングする機能を提供します。ユーザーが新しいカレンダーエントリを作成するときに、ユーザーはエントリのカテゴリも選択します。選択したカテゴリに応じてカレンダーエントリは、タイムバーに関連付けられた色で Group Calendar に表示されます。



GC 2011 の新しい凡例を作成するときには、考慮すべきいくつかのステップがあります。以下の画像を参照してください。



[Language] フィールドは、ユーザーがクライアントで選択した言語に応じて、カレンダーのインターフェイスで凡例に設定されている値が含まれています。凡例の設定をカスタマイズする際に、異なる言語の形式は、次のようになります。

- ja : 日本語テキスト
- en : 英語テキスト
- da : デンマーク語のテキスト
- de : ドイツ語のテキスト
- se : スウェーデン語のテキスト

ユーザーがリストにない言語を選択した場合は凡例の名前が代わりに使用されます。



新たな凡例が作成されたときに、1つ以上のアイテム（複数可）を追加することができます。各アイテムは、その他のグループ カレンダー インターフェイスで、指定されたカレンダーエントリがどのように認識されるべきであるかのパラメータです。

Legend Item Configuration	
<p>Category: A category can be added to a calendar activity. If you create a category which is not in the users' calendars this should be considered as well.</p>	
Name	My Personal
Type	<input checked="" type="radio"/> Category <input type="radio"/> Formula <input type="radio"/> Char
Category	My Personal
Priority	6

Legend Item Configuration	
<p>Formula: A formula automatically calculates how a given calendar activity should be processed and shown by a group calendar interface. A formula can look as following: OrgConfidential="1" &amp; BookFreeTime="1"</p>	
Name	My Personal
Type	<input type="radio"/> Category <input checked="" type="radio"/> Formula <input type="radio"/> Char
Formula	OrgConfidential="1" & BookFreeTime="1"
Priority	6

Legend Item Configuration	
<p>Char: Char is short for 'character'. A character can be a symbol (i.e. #, ! or ?) or simply a letter. The character is written in front of the subject in the subject field in the calendar activity. "?My Personal" or "? My Personal"</p>	
Name	My Personal
Type	<input type="radio"/> Category <input type="radio"/> Formula <input checked="" type="radio"/> Char
Char	?
Priority	6

## Type(対応)の選択肢

### Category

カレンダーエントリのカテゴリと一致させる文字列を追加します。但し、このDBで作成したカテゴリは各ユーザーのメールDBに選択肢として追加されないことを十分に検討してください。完全一致が対象となる条件です。

### Formula

一番のオススメです。式で自動的にカレンダーエントリを判断し色分けをします。式は上記のような式になります。他にも `@Left(Location;3)=" 地下鉄"` のように特定フィールドの前方一致など汎用性は高いです。

### Char

Char は文字列の意味です。件名 (Subject) の文字列の前方一致で対象になります。但し GC2011 上では対象となった文字列は削除された状態で表示されるので元のエントリと値が違い、間違いやすいです。

### Priority (優先順位) フィールド

優先順位フィールドは、複数の凡例アイテムが設定されているときに、どの凡例の色を表示すべきかを決定するために使用されます。たとえば、ユーザーが自分のカレンダー アクティビティーにカテゴリを設定することを選択します。

このユーザーはまた件名にキャラクターを使用することを選択します。この場合、カレンダー インターフェイスに表示される利用可能な凡例が、優先順位により決定されます。優先順位フィールドは、ユーザーが自分のカレンダー アクティビティーで2つの異なるカテゴリを設定している場合に競合を解決します。

Legend Item Configuration		<b>Confidential:</b> By enabling Confidential the meeting for which it has been set will hide details such as invitees and subject.	
Name	My Personal	Priority	6
Type	<input checked="" type="radio"/> Category <input type="radio"/> Formula <input type="radio"/> Char	Confidential	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Category	My Personal		

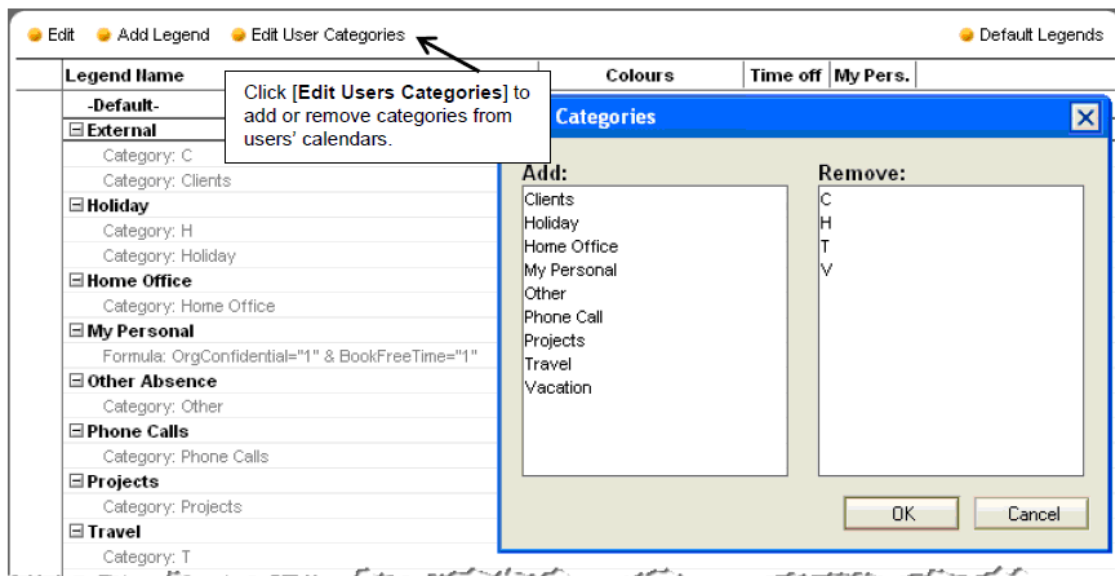
### Confidential

前述のとおり、機密機能を有効にすることによって、件名と招待者は公開ビューから非表示になります。会議は、件名や招待者を除いた、空白の会議として表示されます。さらに招待された人も、件名や招待されている他の人々を見ることはできません。これは、会議の作成者についても同様です。

注：凡例アイテムの変更は[FullSync]コマンドの実行を必要とします。

### ユーザーカテゴリ

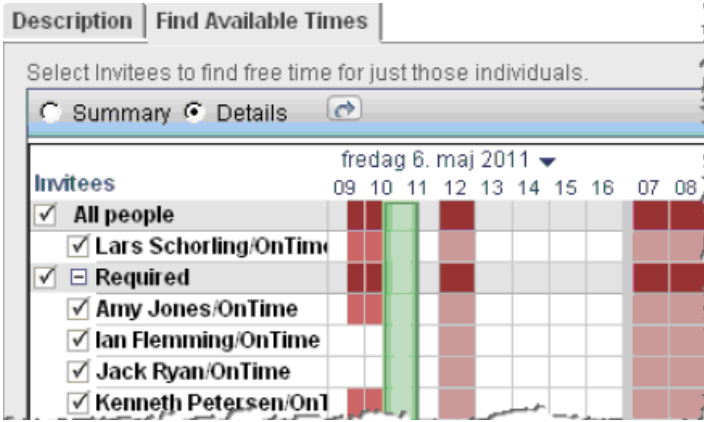
デフォルトでは、カスタムカテゴリは、さまざまなカレンダーエントリを作成するときにエンドユーザの個人カレンダーにリストアップされていません。ユーザーカテゴリ機能では、ユーザのカレンダーに異なるカテゴリを適用することの利点を活用する準備を提供しています。



注：不要なカテゴリを削除するには、それが Remove フィールドにリストされている必要があります。つまり、一度この機能が適用された後、Add フィールドからカテゴリを削除するだけでは十分ではありません。

## ロールや委任プロファイルを介してのアクセス制御

ほとんどすべての組織では、Group Calendar へのアクセスレベルを分ける必要があります。ほとんどの場合、ごく少数のユーザのみが全員のカレンダーエントリのすべての詳細情報へのアクセスを許可されます。GC 2011 は、3 つのレベルのカレンダー エントリへのアクセスを付与します。

アクセス レベル	説明
View schedule information (スケジュール情報の表示)	<p>View schedule information は、カレンダーエントリへの最も低いレベルのアクセスをユーザーに付与することができます。個人カレンダーから会議に誰かを招待するときに、ユーザーが見るダイアログと同等です。</p>  <p>ユーザーは、Standard 版では、個人の空き時間状況、会議の議題やその他の詳細を確認できます。</p>
Read entries details (カレンダーエントリの詳細)	<p>このレベルは、カレンダーエントリのすべての詳細に対してユーザーアクセスを許可します。</p> <p>[非公開]の予定は、デフォルトではすべての情報は非表示のままです。</p>
Create, Edit and Delete entries (作成/編集/削除)	<p>このレベルは、ユーザーにアクセスを許可されている人のエントリの閲覧、作成、編集、削除することを許可します。</p> <p>プライベートの予定は、デフォルトではすべての情報は非表示のままです。</p>

GC 2011 は、以下の 2 つの組み合わせから柔軟に基づいて、Group Calendar 内のエントリに対して個々のユーザーのアクセスを決定します。

- 個人メール DB (ACL) の委任アクセスからの各ユーザーへの権限付与
- Group Calendar 2011 設定データベースで設定するロール

GC 2011 ユーザーの権限は、両方が適用され、この二つの権限のいずれかの高い方のアクセスレベルを付与します。

## 個人メール DB のカレンダー プリファレンスを使用したアクセス権の付与

以下は、個々のユーザーアクセス権が GC 2011 にどのようにマップされるかを示すリストです。

アクセス レベル	個人メール DB からのアクセスと代理レベル
View schedule information (スケジュール情報の表示)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人メール DB のプリファレンスの “スケジュールへのアクセス” タブからの委任は、GC 2011 でサポートされておらず、本当のアクセス制御設定ではないので注意してください。</li> </ul>
Read entries details (カレンダー エントリの詳細)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メール、カレンダー、タスク、連絡先の閲覧</li> <li>● カレンダー、タスク、連絡先の閲覧</li> <li>● 閲覧/作成/削除/送信</li> </ul>
Create, Edit and Delete entries (作成/編集/削除)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 閲覧/作成/送信</li> <li>● 閲覧/編集/作成/送信、不在通知の有効化</li> <li>● 閲覧/編集/作成/削除/送信、不在通知の有効化</li> <li>● カレンダー・タスク・連絡先の閲覧・作成・編集・削除</li> </ul>

**パフォーマンスのヒント：**あなたの組織が積極的に個人メール DB のプリファレンスからアクセスと代理の割り当てを使用しない場合、これらのアクセス権の収集とメンテナンスは、GC 2011 の構成データベース内の “グローバル設定” で無効にできます。

Schedule information only	<input type="checkbox"/> Show Location
Disable ACLs	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Encrypt Texts	<input type="checkbox"/> Yes

## GC 2011 設定 DB のロールを使用したアクセス権の付与

GC 2011 設定 DB のロールビューは、システム管理者が設定したカレンダーエントリへのアクセス権のセットを表します。

これらのアクセス権は、下記を組み合わせることで付与することができます。

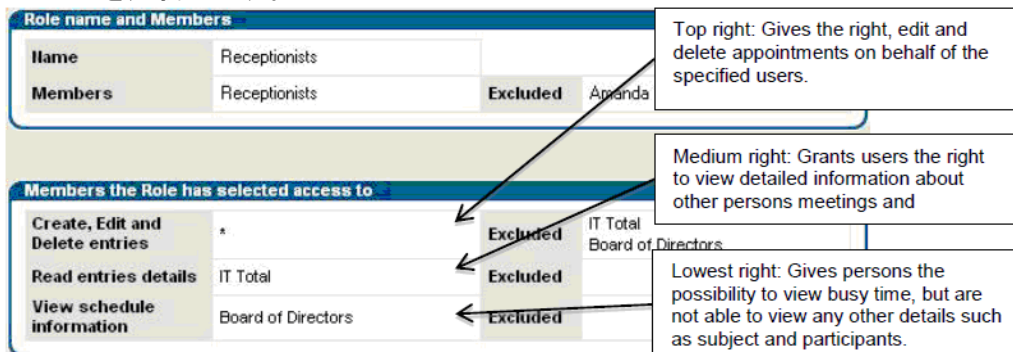
- Lotus Domino ディレクトリのユーザー
- Lotus Domino ディレクトリのグループ
- \* / Sales / Acme のような階層名の構造

ロールのメンバを定義するときに、Lotus Domino Directory のグループを使用し、このロールを許可しない特定のユーザーを除外することにより、最大限の柔軟性を確保することが可能です。Lotus Domino Directory グループまたは階層構造で、ほぼすべてのユーザーにアクセス権を付与したい場合は、この除外機能は特に便利です。

Lotus Domino ディレクトリのグループや階層構造を使用してアクセスを定義することは、ユーザーを組織に参加させたり、外したりする際の、GC 2011 に最低限必要な通常のメンテナンスとなります。

新しいロールを作成するには、下記を実行する必要があります。

1. ロールに名前を割り当てます。
2. グループのメンバーを指定します。Domino ディレクトリのユーザーやグループ、または階層になったユーザ名のどれでも指定できます。
3. このロールがどの個人カレンダーにどのようなレベルでアクセス権を付与すべきかを定義します。



The screenshot shows the 'Role name and Members' and 'Members the Role has selected access to' sections. Callouts explain the access levels:

- Top right:** Gives the right, edit and delete appointments on behalf of the specified users.
- Medium right:** Grants users the right to view detailed information about other persons meetings and
- Lowest right:** Gives persons the possibility to view busy time, but are not able to view any other details such as subject and participants.

### ロールのセットの例

Roles (Members)	All (*)	Board of Directors (Lars)	Receptionist (Amanda)	IT DK (IT User)	Sales DK (Sales User)
Create, Edit and Delete entries		*	* -Board of Directors	IT DK	Sales DK
Read entries details	*			-Board of Directors	
View schedule information					

この例の All は、組織内のすべてのユーザーのカレンダーエントリを読み取る権限を、皆に付与するために使用されるロールです。

アスタリスク (\*) は、組織内のすべてのユーザーにこのアクセスレベルを付与するのに使用しています。

アクセスレベルは累積適用するため、ユーザーが他のロールから、より高いアクセスレベルを付与されることがあることに注意してください。

Lars (ラーズ) は会社の重役です。Lars は、Board of Directors と All のロールに所属するため、すべての従業員のカレンダーを編集することができます。

Amanda (アマンダ) は秘書であり、Receptionist ロールと All ロールのメンバーです。彼女は、Board of Directors のものを除いて全員の予定を編集することができます。All ロールを介して彼女は Board of Directors の予定の読み取りアクセスを有しています。

IT User は開発者で Sales DK と All のグループに属しています。彼は、Lotus Domino ディレクトリの IT DK グループのメンバーの皆のカレンダーを編集することができます。All ロールを介して、Board of Directors を除いて皆の予定を GC2011 カレンダーインターフェイスからアクセスできます。

Sales User は営業担当で Sales DK と All ロールに属しています。彼はすべてのユーザーのカレンダーの件名を読んだり、Sales DK グループのメンバーである従業員の予定への編集アクセス権があります。

## 表示グループ

多くの場合、すべてのユーザーの完全なリストを表示するときに、GC 2011 のカレンダーインターフェイスは、圧倒的な量の情報をユーザに表示します。

GC 2011 内のグループは、カレンダーエントリをさまざまな方法で検索やフィルターをかけて表示する、グループ カレンダー利用者のユーザーの定義済みセットと考えることができます。

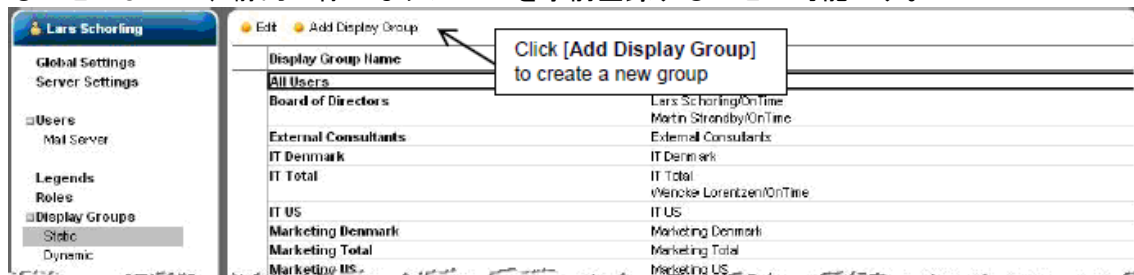
グループは、GC 2011 データベースの[Display Groups]ビューで作成、保守されます。

表示グループは、GC 2011 システムのすべてのユーザにご利用いただけます。グループは、付与されているカレンダー情報を表示するアクセス権に基づいて、GC 2011 のユーザーにさまざまな異なる結果をもたらす可能性があります。例えば、あるユーザーは“ワールドワイド・セールス”表示グループを使用できたとしても、この表示グループのすべてのメンバーのエントリを見ることはできません。

表示グループは、単に関連するビジネス単位へのグループ分けに使用されるだけで、セキュリティは制御しません。

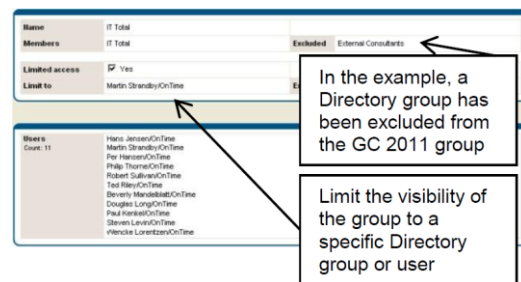
## Static Groups (静的グループ)

静的グループを作成すると、Domino ディレクトリの個別ユーザーまたはグループを利用することによって、静的に様々なグループを事前登録することが可能です。



下の図はグループと個人の両方の使用方法を示します。

右図は、Members フィールドには Domino ディレクトリから選択したグループが指定された GC 2011 設定 DB で作成されたグループ文書が表示されています。管理タスクがサーバー上で実行されると、Users フィールドは、Domino Directory のグループにリストされている人で更新されます。このグループのメンテナンスは、Domino ディレクトリで行われます。



### Limit to

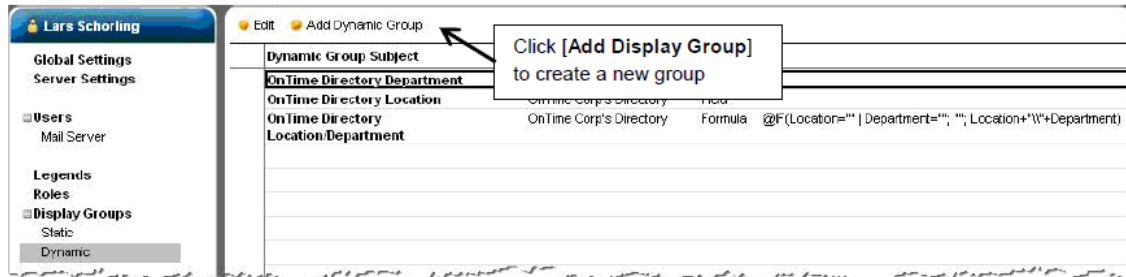
[Limit to]機能で GC 2011 管理者は、特定の Domino Directory のグループまたは特定のユーザーで作成された静的グループの可視性を制限できます。これは、通常、大規模な環境で組織内のすべてのユーザーに目に見えるノイズを低減するのに使用されています。

次に、メンバーに個人が個別に追加された GC 2011 設定 DB で作成されたグループを見てみます。この GC 2011 のグループのメンテナンスは、GC 2011 設定 DB を介して行われなければなりません。OTGC Admin タスクがサーバー上で実行されると、Users フィールドは Members フィールドに追加された人々で更新されます。

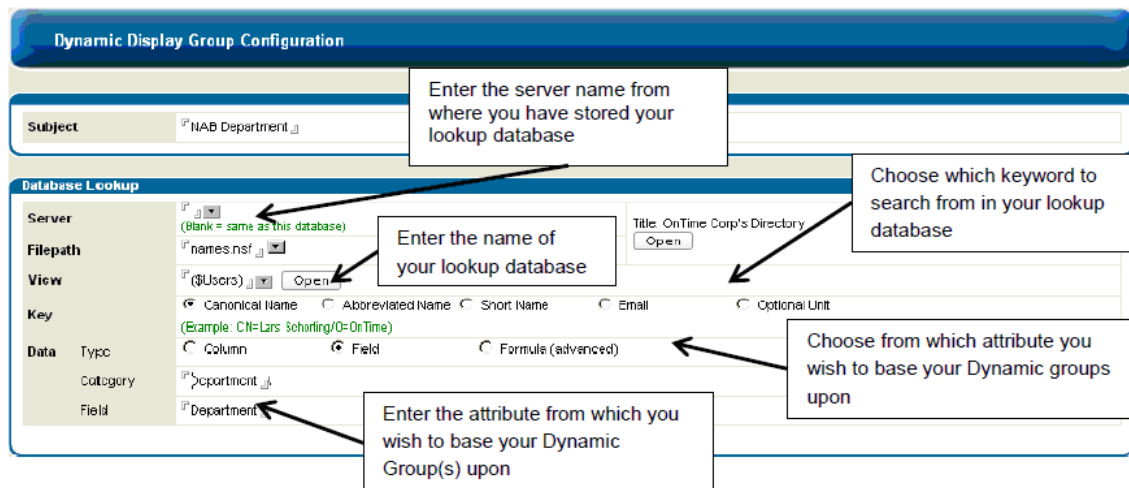


## Dynamic Groups (動的グループ)

動的な表示グループを作成するときは、Domino Directory (names.nsf)、または他の参照データベースを利用することによって、動的にさまざまなグループを事前登録することが可能です。希望する参照用データベースを検索することにより、GC 2011 は、目的の列、フィールドまたは階層から、ソートされているグループを作成することができます。作成したグループは、動的グループの設定に応じてソートされます。



これは、設定された動的グループのビューです。[Subject] フィールドは、実際のグループの表示名ではなく、単に様々な作成済みの動的グループ文書を区別しやすくするための名前です。



[Category] フィールドの機能は、任意の動的グループ名を簡単に作成し識別するためです。[Category] に” 部署 ” を、利用する [Field] には” Department ” を入力しておく、インターフェイスには” 部署¥/総務 ” や ” 部署¥/営業 ” というふうに動的グループの名前を指定したことになります。

動的グループは、お望みのルックアップ用データベースで見つかったエントリに応じて、自動的にグループを作成して事前登録されます。

例えば、同じく (\$Users) ビューで、[Category] に” バージョン ”、[Field] に” CIntBld ” と設定して準備すると、CIntBld には利用したことがある Notes のバージョンが複数値で入っているので利用したことがあるバージョン毎にグループを作ってユーザー一覧を各インターフェイスに表示してくれます。

追記：最高のパフォーマンスを得るには、同じサーバー上に参照用データベースを置くことを強くお勧めします。

**Applications (アプリケーション)**
**デフォルト設定**

デフォルト設定は、ユーザーが初めて起動したときに、Group Calendar がどのように表示されるかを指定するために使用されます。

グループ カレンダーのインターフェイスで優先される言語をデフォルトとして指定することができます。

これらの各設定は、ユーザー自身が指定した設定することで変更されます。もし組織として Group Calendar の言語を日本語になるようにデフォルト設定していても、利用者がユーザー設定をドイツ語に設定している場合には、起動時はドイツ語になります。

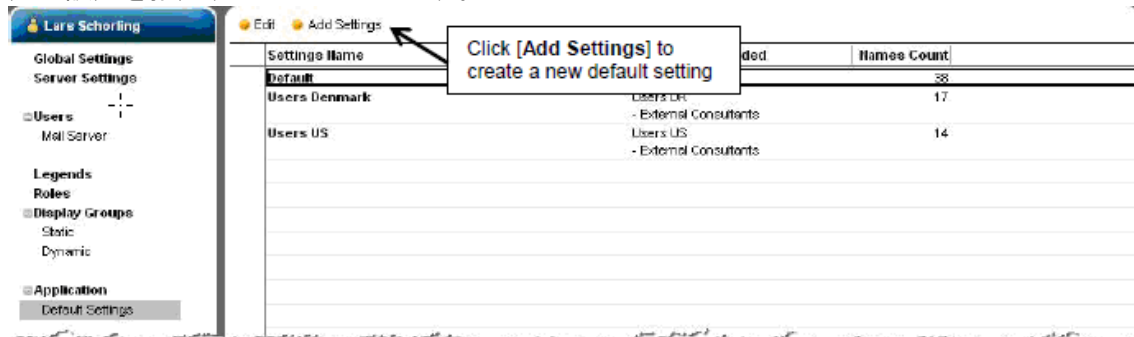
ユーザーが、2つの異なるアプリケーション設定のメンバーになることはできません。したがって、リスト内の最初の設定が、自動的にそのユーザーのデフォルトの設定として設定されます。そのような場合には、デフォルトの設定に優先順位の番号で名前を付けることをお勧めします。

デフォルトの設定はアプリケーションごとに設定することができます。

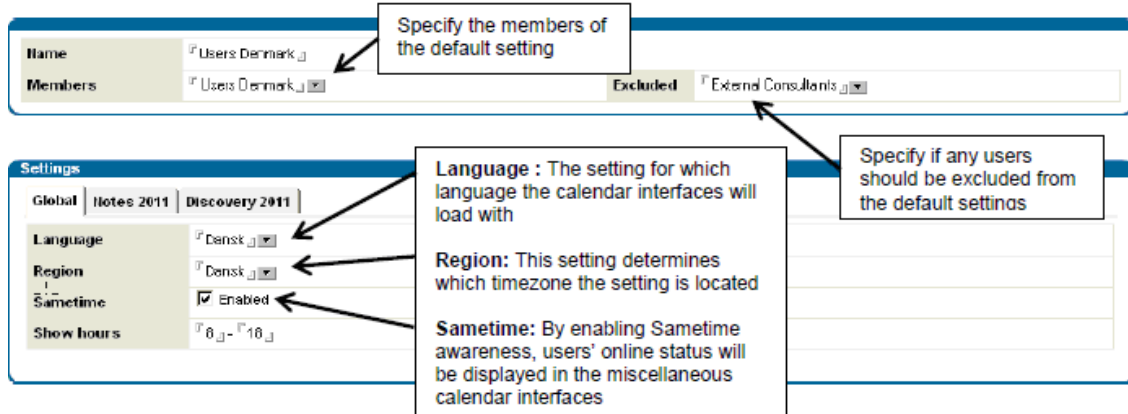
**Global** : Global は、すべての GC2011 インターフェイスのデフォルト設定で、ここで設定したものはすべての OnTime Group Calendar のインターフェイスに影響を与えます。

**Notes 2011** : Notes の設定では、Notes 2011 インターフェイスの特定の設定を指定することができます。

**Discovery 2011 (日本未対応)** : Discovery の設定では、Discovery 2011 クライアントの特定の設定を指定することができます。



新しいデフォルト設定を作成する場合は次のように指定します。



行の高さを変更すると、Group Calendar の各メンバー予定が件名とともに、ビューにどれくらい多く表示されるかが決定されます。



## GC 2011 Broadcast のセットアップ

GC 2011 Broadcast は一元的にカレンダーエントリを管理する機能を提供しています。Broadcast データベースは、ユーザーの個人メール DB に同期されるカレンダーエントリを作成するために使用されます。Broadcast データベースのメイン ビューは、選択されている日付にどんなエントリが作成されているかを表示します。

### Broadcast カレンダーエントリを作成する

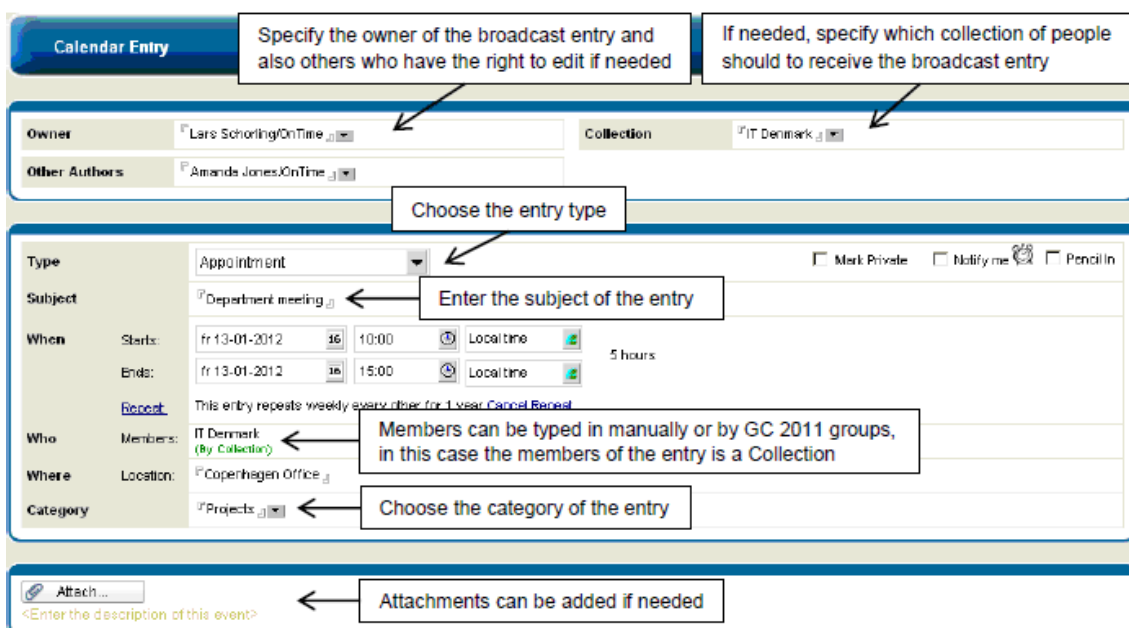
カレンダーエントリは、Broadcast データベースのカレンダービューから作成され、管理されます。



いずれかのボタンを選択しても、Broadcast エントリ文書内でエントリを別のタイプに変更することができます。

Broadcast のエントリを作成することは、いくつかの他の要件を除いて、個人メール DB のエントリを作成することに似ています。その他の要件にはメンバーが含まれています。Broadcast のエントリを作成するときは、Broadcast 管理者が、誰がこれらのエントリを適用する又は適用されるべきであるかを、慎重に考えることをお勧めします。Broadcast のエントリが大量なメンバーのために作成された場合に、Broadcast 管理者は、コレクションの恩恵を受けることができます。

詳細については、[Collections](#) のセクションを参照してください。



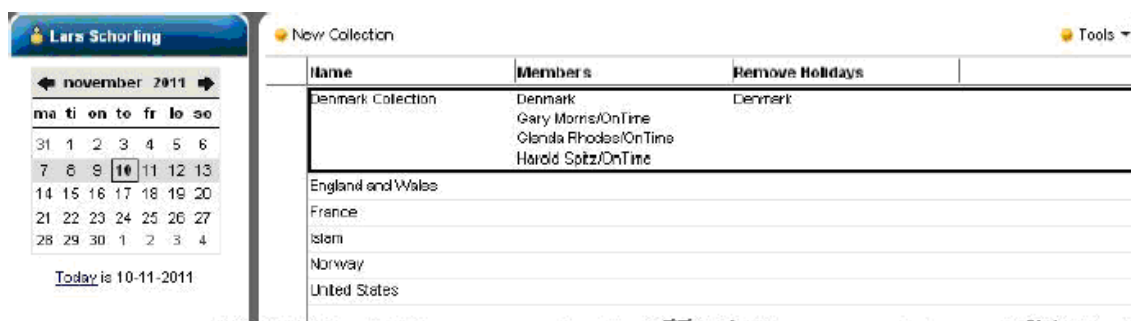
注：Who フィールドには、GC 2011 の静的/動的グループを含めることができます。

## Collections (コレクション)

Broadcast のエントリは“コレクション”と呼ばれるグループに収集することができ、繰り返し行われる予定、休日またはイベントを、ユーザーの個人メール DB に適用する作業を容易にする助けになります。

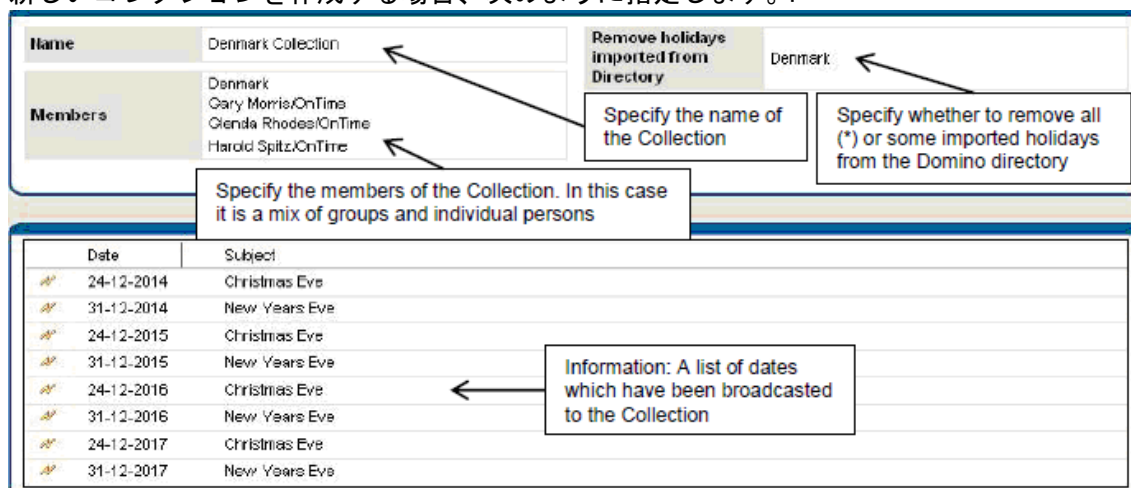
コレクションは、通常、GC 2011 Broadcast 管理者がそれぞれの国の休日や、ワークグループごとの決まったイベントを、国ごとまたはワークグループごとに適用するために使用されます。

新しいコレクションを作成する前に、それをワークグループごとか国ごとのために作成するのかを、GC 2011 の管理者は考慮する必要があります。



Broadcast コレクションは、GC 2011 で同期されたユーザーのみを含めることができます。したがって、Broadcast 管理者は、GC 2011 Broadcast データベースにコレクションを作成する前に、GC 2011 で静的/動的グループを作成しておけば、恩恵を受けることができます。たとえば、国グループ用にコレクションが作成された場合では、Domino ディレクトリからユーザーがインポートした祝日を削除することが可能です。

新しいコレクションを作成する場合、次のように指定します。:



注：コレクション名は、コレクションを識別するために使用されるため、GC 2011 のカレンダーインターフェイスで表示されません。

## Notes 2011 インターフェイスのインストール

Notes 2011 インターフェイスは、IBM Lotus Notes 8.5.x Standard 版用の Java プラグインベースのインタフェースで、ウィジェット XML ファイルを使用した更新サイトからインストールされます。ウィジェット XML ファイルで指定されている更新サイトは、OnTime サーバやネットワーク上の別のサーバを使用します。

インストールキットのウィジェット XML ファイルは、OnTime サーバーを指しています。ネットワーク上での更新サイトをホストするように選択したい場合、ウィジェット XML ファイルを変更する必要があります。ウィジェット XML ファイルを変更する方法については、以下の「内部ネットワークで更新サイトをホストする」セクションを参照してください。

ご注意：ネットワーク接続/ファイアウォールの問題を回避するために、内部ネットワーク上で更新サイトを常にホストすることをお勧めしますが、小規模な展開（50 未満のクライアント）では、OnTime アップデートサイトからインストールすることもできます。内部ネットワーク上でローカルな更新サイトをホストすれば、Notes 2011 カレンダー インターフェイスを配布するときにより詳細に制御することができます。

### ウィジェット・カタログでウィジェット XML をホストする

ウィジェット XML は、いずれかのハードドライブ、ネットワーク共有上に保存されているか又はウィジェット・カタログで提供されます。Notes 2011 のために、既存のウィジェット・カタログの再利用または新しいものを作成することができます。ウィジェット・カタログを作成する方法の詳細については Domino Administrator ヘルプを参照してください。

ウィジェット・カタログ・データベースがあるなら、次の手順に従ってください。

1. ウィジェット・カタログ・データベースを開きます。
2. ビューのアクションボタン[カタログにウィジェットを追加]をクリックします。
3. フォームに入力します：
  1. タイトル：OnTime Group Calendar 2011 - Notes
  2. カテゴリ：OnTime Group Calendar
  3. 説明：OnTime グループのカレンダー2011 - Lotus Notes インターフェイス
  4. [添付...]ボタンをクリックして、使用したいウィジェット XML を選択します
4. [保存して閉じる]をクリックしてください。

### 内部ネットワークで更新サイトをホストする

内部ネットワーク上でローカル更新サイトをホストする場合、更新サイトにクライアントプログラムをインポートしてから、供給されるウィジェット XML ファイルを更新サイトを指すように変更する必要があります。

IBM Lotus Domino サーバーに付属のテンプレートを使用すると更新サイトを最も容易に作成できます。

テンプレートは、“Eclipse アップデートサイト”と呼ばれ、高度なテンプレートです。更新サイト・データベースを作成する方法についてのステップバイステップの手順は、Lotus Domino システム管理ヘルプの“NSF ベースの更新サイトの作成と使用”のトピックをご参照ください（Notes クライアントのインストールおよびアップグレード/クライアント プラグイン展開の管理/NSF ベースの更新サイトの作成と使用）

注：また、既存の更新サイト・データベースを再利用することもできます。

ユーザは HTTP または NRPC プロトコルを使用して、更新サイトからクライアントをダウンロードする必要があります。続行する前に使用するプロトコルを決定します。更新サイトをホストするサーバーが、HTTP タスクを実行していない場合は NRPC を選択します。

更新サイト データベースを準備できたら、インストールキットに付属のプラグインを更新サイトにインポートするには、以下の手順に従います：

1. Notes クライアントで更新サイト データベースを開きます。
2. [Import Local Update Site...]アクションをクリックして実行します。
  - a. [Browse...]をクリックして Notes 2011 が格納されているフォルダを選択
  - b. 先ほど選んだ場所を参照し、site.xml を選択します。
  - c. [OK]をクリックしてインポートを完了します。
3. [Actions/Show URLs...]を選択
  - a. 使用を決定したプロトコルのアドレスを含む URL を、ウィジェット XML で使用するためにメモします（または“Copy”ボタンをクリックしコピーする）

### ウィジェット XML を変更する

インストールキットの Notes2011 ディレクトリでウィジェット XML を見つけます。これは “Widget Installer (HTTP) - OnTime Group Calendar 2011.xml” と呼ばれる（または似た名前の）XML ファイルです。ご利用のテキストエディタでファイルを開きます。

それを開くと、ファイルの先頭は以下の画面ショットのようになっています。使用される更新サイトを示すため、画面ショットで URL-属性が強調表示されています。画面ショットからわかるように、それは OnTime サーバーでホストされている更新サイトを指しています。インストール元を変更するには、単に更新サイトの属性を変更します。ここに入れる情報を取得する方法については、先ほどのセクションを参照してください。

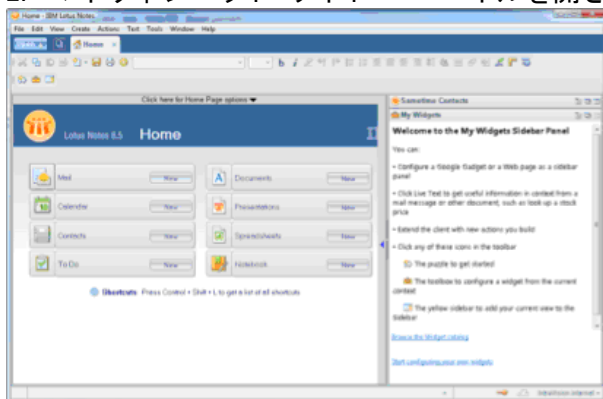
```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<webcontextconfiguration version="1.1">
  <palletteItem
    id="com.ontimesuite.gc2011.notes.feature"
    imageUrl="http://www.ontimesuite.com/images/favicon.ico"
    providerId="com.ibm.rcp.toolbox.prov.provider.ToolboxProvisioning"
    title="OnTime Group Calendar 2011 - Notes"
    url="http://download.intravision.dk/gc2011/updatesite_notes2011.nsf/site.xml">
  </palletteItem>
</webcontextconfiguration>
</preferences>
</data>
<installManifest>
  <![CDATA[
    -----
  ]]>
</installManifest>
</data>
```

ファイルを編集し終わったらファイルを保存して閉じます。

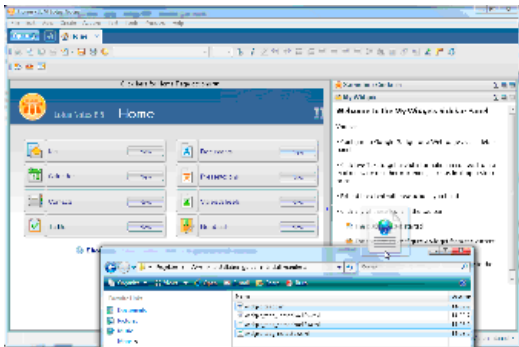
### ハードドライブ上のウィジェットからのインストール

インストールするには、以下の手順に従います。

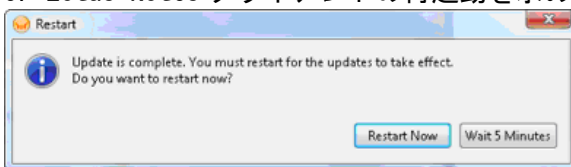
1. 使用したいウィジェット XML を見つける
2. マイウィジェット・サイドバー・パネルを開きます。



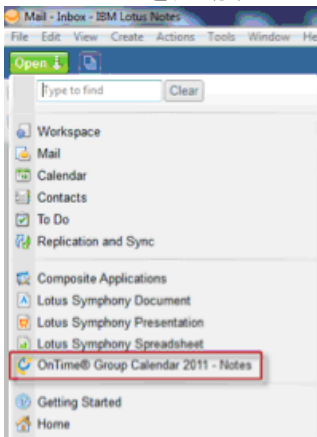
3. マイウィジェットサイドバーパネルにウィジェット XML をドラッグし、ウィジェットをインストールします。



4. Notes クライアントに、Notes 2011 インターフェースがインストールされました。(使用されている証明書を信頼する、または署名されていないプログラムのインストールを信頼するように求められることがあります)
5. Lotus Notes クライアントの再起動を求められたら [Restart Now] をクリックします



6. Notes の再起動が終わると、Notes クライアントの [開く] メニューに Notes 2011 インターフェースを起動するショートカットが表示されます。

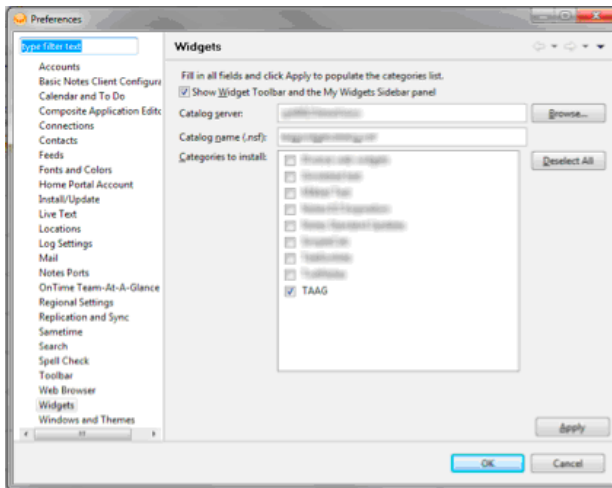


### 手動でのウィジェットカタログからのインストール

使用したいウィジェット・カタログを決定します。ウィジェット・カタログを持っていない場合は作成する必要があります。ウィジェット・カタログの作成の詳細については、Lotus Domino Administrator ヘルプの “ウィジェットおよびウィジェットカタログでのクライアントプラグインの展開” のトピックを参照してください。ウィジェット XML をウィジェット・カタログ内にインポートする方法については “ウィジェットカタログでウィジェット XML をホストする” を参照してください。

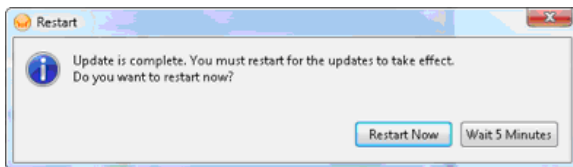
ウィジェット・カタログからインストールするには下記の手順に従います。

1. Lotus Notes クライアントを開きます。
2. プリファレンス [ファイル/環境設定...] を開き、ウィジェットに切り替えます
3. 下記の通りフィールドに記入してください
  - a. “カタログサーバ” フィールドにウィジェットカタログをホストする Domino Server のサーバー名 (例えば Server1/Example) を指定
  - b. “カタログ名” フィールドにウィジェット・カタログ (例えば、 “notes2011\_widgetcatalogue.nsf”) へのパスを指定します。
4. [Apply] をクリックすると (Notes は、ローカル ワークステーション上にウィジェット



GROUP CALENDAR 2011  
カタログのローカルレプリカを作成します)、ウィジェットカタログで使用可能なウィジェットのカテゴリのリストが表示されます。

5. インストールしたいカテゴリを選択します。この例では、Notes 2011 ウィジェットを配置するカテゴリの名前として Notes 2011 というカテゴリを選択しています。
6. [OK]をクリックして選択したコンポーネントをインストールする
7. Notes クライアントは、Notes 2011 のインストールを開始します。



8. Lotus Notes クライアントの再起動を要求されたら [Restart Now] を押します。
9. Notes の再起動が終わると、Notes クライアントの [開く] メニューに Notes 2011 インターフェイスを起動するショートカットが表示されます。

**Lotus Domino のポリシーを使用したウィジェットカタログからのインストール**  
Notes 2011 インターフェイスの自動プロビジョニングは、ポリシーを使用することができます。これを行う方法についての詳細な解説は、このドキュメントの範囲外ですが、詳細レベルの説明を以下に記述します。

Lotus Domino ポリシーを使用したプロビジョニングを実行するために必要なのは：

1. 更新サイト（これはおそらく OnTime サーバです）。
2. ウィジェット XML を含んだウィジェット カタログと、ウィジェット・カタログ内のウィジェットを保持しているカテゴリのカテゴリ名を知っている必要があります。
3. Lotus Domino のポリシーとそのデスクトップ設定文書

ポリシーを使用したインストールは、デスクトップ設定文書を作成または編集することによって行われますので、Notes 2011 インターフェイスをインストールする指定と、“ウィジェット”タブにサーバーと更新サイトのパスとカテゴリ名を指定する必要があります。

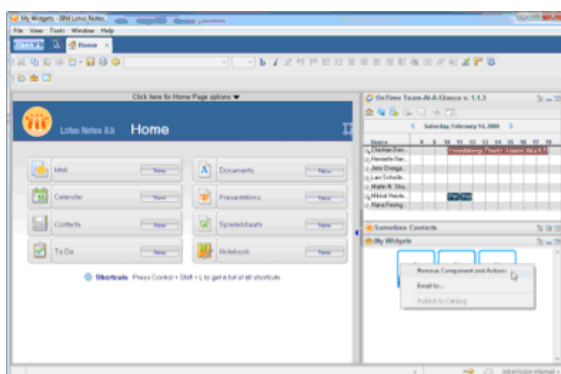
## アンインストール

アンインストールの手順は、OnTime Notes 2011 をウィジェットとして、ドラッグ&ドロップでインストールしたか、または、ウィジェット・カタログからインストールしたかによって異なります

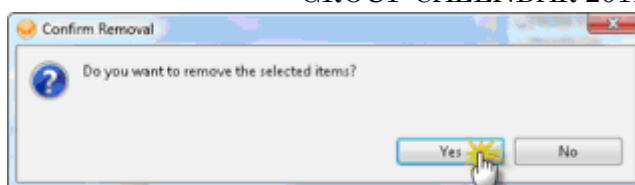
### ドラッグ&ドロップ後のアンインストール

Notes 2011 をアンインストールするには、下記の手順に従います。

1. Lotus Notes クライアントを開きます。
2. マイウィジェットサイドバーパネルを開きます。インストールされている Notes 2011 コンポーネントを表すアイコンを選択します。



3. 選択項目を右クリックして[削除]をクリックします。
4. 選択した項目の削除を尋ねられたら[はい]をクリックします。
5. 操作を完了するために Lotus Notes クライアントを再起動します。



### ウィジェット・カタログを使用した後のアンインストール

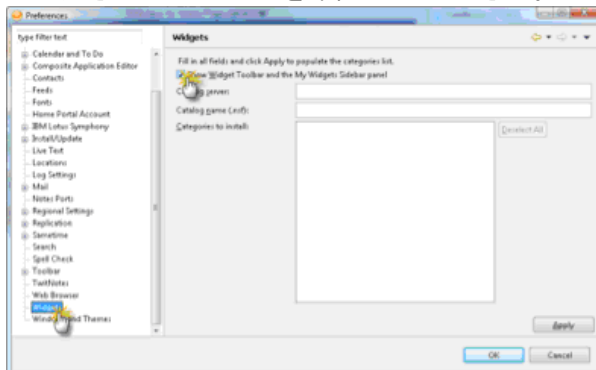
Notes 2011 をアンインストールするには、下記の手順に従います。

1. Lotus Notes クライアントを開きます。
2. 設定（ファイル/環境設定...）を開きます。
3. “ウィジェット”の設定ページに切り替えます。
4. チェックされている Notes 2011 インターフェイスを含んでいるカテゴリのチェックボックスをオフにし、[OK]をクリックします。
5. コンポーネントをアンインストールした後、Notes を再起動します。

### “マイウィジェット”サイドバー・パネルを有効にする

ドラッグ&ドロップを使用し Notes 2011 カレンダーインターフェイスをインストールする場合、“マイウィジェット”サイドバー・パネルが表示されている必要があります。それを有効にするには、下記の手順に従います。

1. Lotus Notes クライアントを開きます。
2. 設定（ファイル/環境設定...）を開き、“ウィジェット”に切り替え
3. “ウィジェットツールバーおよびマイウィジェットサイドバーパネルを表示”がチェックされていることを確認してください。



4. [適用] をクリックします。
5. ダイアログボックスを閉じるには[閉じる]をクリックします
6. サイドバーにマイウィジェット サイドバー プラグインが出ていることを確認してください。

注：Lotus Domino のポリシーでマイウィジェット機能を有効にすることが制限されている場合があります。

## トラブルシューティング

問題のトラブルシューティングまたは診断に役立てるために、OnTime のサポートにより、ログを有効にしたりトレースログに行番号を有効にするようにご案内することがあります。

### ログの有効化

ログの有効化は、クライアントごとに行われます。

**注意：**マイクロソフトの Windows Vista または Microsoft Windows 7 上で IBM Lotus Notes を実行している場合は、管理者権限で、以下の手順を行う必要があります。

ログを有効にするには下記の手順に従ってください：

1. Notes クライアントが実行されていないことを確認してください。
2. クライアント・マシン上の Notes データディレクトリを探します。  
例) C:\Program Files\IBM\LOTUS\notes\data
3. workspace\config ディレクトリを開きます。
4. メモ帳などのエディタで rcinstall.properties ファイルを編集します。
5. ファイルの末尾に以下の行を追加します。  
com.ontimesuite.gc2011.level=FINEST  
com.ontimesuite.sametime.level=FINEST
6. ファイルを保存して閉じます
7. Lotus Notes クライアントを起動し、問題を再現します。

“ヘルプ/サポート/トレース表示”メニュー項目に移動し、ダイアログボックスの内容をコピー/貼り付けします。これは、サポート・トレース・ログです。

**注意：**クライアントのパフォーマンスに大幅に影響を与える可能性がありますので、サポートに案内された場合のみログを有効にすることを推奨します。

### ログを無効にする

ログを無効にするには上記で追加した 2 行を削除してください：

1. Notes クライアントが実行されていないことを確認してください。
2. rcinstall.properties から以下の行を探しそれらをファイルから削除します。
  - a. com.ontimesuite.gc2011.level=FINEST
  - b. com.ontimesuite.sametime.level=FINEST
3. ファイルを保存して閉じる

### トレースログの行番号の有効化

トレースログの行番号の有効化はクライアントごとに行われます。

1. Notes クライアントが実行されていないことを確認してください。
2. クライアント・マシンの Notes ディレクトリを探します。  
例) C:\Program Files\IBM\LOTUS\notes
3. framework\rcp\deploy ディレクトリ内の jvm.properties ファイルを見つけます。
4. “vmarg.Xnolinelnumbers=-Xnolinelnumbers” という行の先頭に (#) を入力する。
5. ファイルを保存して閉じます。
6. 通常<Notes data>\workspace\config\org.eclipse.osgi にあり、“C240D2A32P\_xpdplat\_.jvm\_G07” というような名前の、クラスファイルのキャッシュファイルを削除します。
7. Lotus Notes クライアントを起動し、問題を再現します。

“ヘルプ/サポート/トレース表示”メニュー項目に移動し、ダイアログボックスの内容をコピー/貼り付けします。これは、サポート・トレース・ログです。

**ご注意：**行番号を有効にすると、Lotus Notes クライアントのメモリ フットプリントを変更しますので、サポートに案内された場合にのみ、それを有効にすることを推奨します。



## Discovery 2011 のセットアップ(日本未対応)

この機能は下位互換性のためのもので、旧バージョンの機能です。よって日本では対応の予定はございませんのでご注意ください。

Discovery 2011 カレンダー インターフェースは、Notes 2011 カレンダー インターフェースをサポートしない、Lotus Notes 8.5 Basic 版（またはそれより古い）クライアントを使用しているユーザーを対象としています。Discovery 2011 を開くには、ユーザーが GC 2011 のデータベースの ACL で Discovery のロールを割り当てられている必要があります。

詳細については、付録 A - ACL のセットアップを参照してください。

Discovery ロールがユーザーに割り当てられている場合、GC 2011 データベースは、Discovery 2011 のランチャーとして機能します。

注:Discovery を使用するより前に、ユーザーは GC 2011 に同期されている必要があります。データベースへのアクセスを分散する場合、他のものと異なるべきではありません。

## GC 2011 Web のインストール

OnTimeGC 2011 Web は、お好みのインターネットブラウザからアクセスできるカレンダービューアです。サポートされているブラウザのリストは、システム要件のセクションで提供されています。

GC 2011 Web をインストールする前に、HTTP サーバー タスクが、OnTime GC 2011 Web がインストールされている Domino サーバー上で開始されていることを確認してください。準備のために、OnTime の サーバーの完全修飾ドメイン名を取得する必要があります。サーバーの ID ファイルを使用してデータベースに署名することをお勧めします。

OnTime GC 2011 Web は、セッションベースの認証のみをサポートしています。これに関する情報はドミノ管理者ガイドを参照してください。

### インストール手順

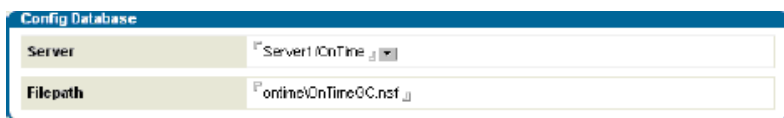
#### 1. GC 2011 Web データベースを作成する

はじめに Domino Data ディレクトリにテンプレートファイルをコピーし、他の OnTime GC 2011 のデータベースで行なったと同じ様に、テンプレートに署名し、データベースを作成します。

#### 2. 設定を編集


GC 2011 Web データベースを開き、[OnTime Group Calendar 2011 Web Settings]をクリックします。これで設定文書を編集することができます。

#### 3. GC 2011 Web を構成する



Config Database	
Server	Server1/OnTime
Filepath	OnTimeGC.nsf

- GC 2011 設定データベースが置かれているサーバーを指定します。
- GC 2011 設定データベースのファイルパスを指定します。



Launch Options	
Fully Qualified Domain Name	http://server1.ontimesuite.com/OnTimeGC.nsf
SSL	<input type="checkbox"/> Yes

- OnTime サーバの完全修飾ドメイン名を入力します。
- GC 2011 Web に SSL を介してアクセスするセットアップが必要な場合は[Yes]のチェックをオンにします。

ご注意：SSL は、データベース上でも有効にする必要があります。

- [GC 2011 Web]を右クリックし、[アプリケーション] - [プロパティ]をクリック
- [SSL 接続を要求する]を有効にする

## iNotes のウィジェットとして GC 2011 Web を有効にする

GC 2011 Web は、簡単にアクセスするために iNotes に統合することができます。

ウィジェットとしての GC 2011 Web の有効化は、OnTime GC 2011 がインストールされているドミノサーバー上で提供されるタスクです。Domino サーバーには、iNotes で GC 2011 Web が動作するように編集する必要がある設定ファイルのテンプレートが付属しています。ファイル名は inotes\_config.xml.template で、Domino Data ディレクトリの domino\html サブディレクトリに存在しています。

それを開くと、ファイルの先頭は以下のスクリーンショットのようになっています。強調表示された属性は、デフォルトでは IBM の Web サイトを指しています。ソースを変更するには、単にあなたのサーバーに一致する値に属性を変更します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<inotes:extensions xmlns:inotes="urn:x-inotes:ibm.com">
<toolboxcatalog name="toolbox.nsf" categories="iNotes,DWA"/>
<!-- Include here widgets that will appear in all iNotes user's widgets
folder.
Copy and paste the webcontextConfiguration elements from the widget's
extension.xml.
Note: dynamicExtension elements may be included, but they are currently
ignored by iNotes.
-->
<!-- the following widgets are provided as examples only -->
<webcontextConfiguration version="1.1">
  <paletteItem contributeToSideShellForStartup="false" id="228705218"
  imageUrl="http://www.ibm.com/favicon.ico" modified="false"
  providerId="com.ibm.rcp.toolbox.web.provider.webservicespaletteprovider"
  title="IBM United States"
  url="http://www.ibm.com/sandbox/homepage/version-b/">
  </paletteItem>
</webcontextConfiguration>
</extensions>
</data>
```

- “imageUrl=xyz” を、末尾に “ontimegcweb.nsf/favicon.ico” を持つ独自のサーバのエントリと置き換えます。
- “title=xyz” を適切なタイトル（例えば、“GC 2011 Web”）で置き換えます。
- “URL = xyz” をあなた自身のサーバーに一致するエントリと置き換えます。
- XML 形式でファイルを保存して閉じます。

上記のタスクを有効にするには、notes.ini の値も追加する必要があります。値が追加された場合、値を正常に適用するために Lotus Domino サーバーを再起動するようにしてください。

- Domino ディレクトリ内の notes.ini ファイルを探します
- 値 “iNotes\_WA\_Widgets=1” を追加

ファイルを保存して閉じる

## GC 2011 Mobile のインストール

OnTime GC 2011 Mobile は、JavaScript をサポートしているブラウザと最小 320 ピクセルの画面幅を持っているモバイルデバイスと互換性のあるカレンダービューアです。

この機能は、別個のライセンスが必要です。GC 2011 Mobile に必要なライセンスキーは、<https://ontimesuite.jp> から入手することができます。

ライセンスキーを入力するには、「シングル GC 2011 サーバのインストール」セクションの手順 4 を参照してください。

GC 2011 Mobile をインストールする前に、HTTP サーバー タスクが OnTime GC 2011 Mobile がインストールされる Domino サーバー上にインストールされていることを確認してください。準備する目的のために、OnTime の サーバーの完全修飾ドメイン名を取得する必要があります。

### インストール手順

「GC 2011 Web をインストールする」セクションを参照してください。

### デバイスからアプリケーションにアクセスする

アプリケーションへのパスを取得するには、GC 2011 Web データベースを開いて、[Launch OnTime Group Calendar 2011 Web] をクリックします。



これで OnTimeGC 2011 Web インターフェイスが開きます。パスに “/mobile” を追加すれば、それがモバイルの起動ファイル パスとなります。

モバイルデバイス上でこのパスをブックマークしてください。

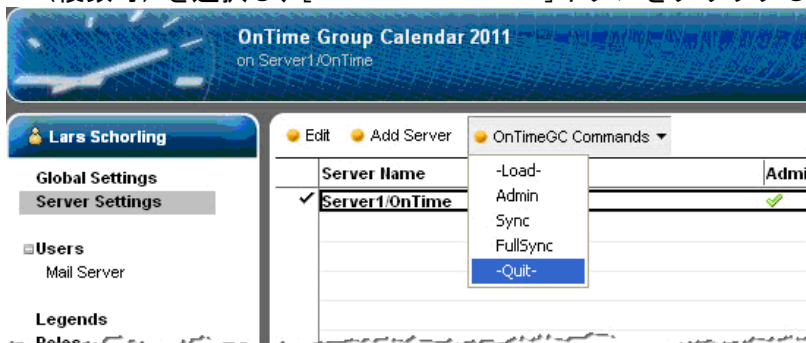
## GC 2011 の以前のバージョンからのアップグレード

**重要!** : GC 2011 は OnTime 製品では個別の製品であるので、GC 9. x. x (またはそれ以前) から GC 2011Ver. 1.0. x (またはそれ以降) へアップグレードすることはできません。GC 9. x. x から GC 2011 版には絶対にアップグレードしないでください。

GC 2011 の現在のバージョンを最新のバージョンにアップグレードするには、以下の手順に従ってください。

### 1. OnTimeGC サーバタスクをシャットダウンする

GC 2011 設定 DB から、[Server Settings]ビューに移動します。アップグレードしたいサーバ (複数可) を選択し、[OnTimeGC Commands] ボタンをクリックし、[-QUIT-] を選択します。



またはコンソールで "tell ontimegc quit" 又は "tel ontimegc q" と入力します。複数のサーバに OnTime GC 2011 がインストールし、データベースを複製している場合は、他のサーバ上でもサーバタスクをシャットダウンする必要があります。

### 2. Domino データディレクトリにテンプレートファイルをコピーします。

マニュアルの推奨通り "ontime" フォルダにテンプレートファイルを配置している場合、これらのファイルを置き換えてください。別のフォルダまたは Domino データディレクトリのルートにそれらを配置した場合は、[グローバル構成] 文書でこれを指定することを忘れないでください。

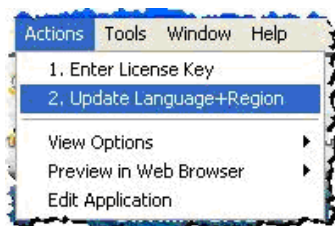
### 3. テンプレートの署名

データディレクトリにテンプレートをコピーした後、適切な ID を使用してテンプレートに署名します。サーバ ID で OnTime GC 2011 のテンプレートに署名することをお勧めします。

### 4. OnTimeGC データベースの設計を置換する

準備したテンプレートを使用して GC 2011、GC 2011 API、GC 2011 Log、GC 2011 Web、GC 2011Broadcast データベースの設計を置換します。

[テンプレートから設計を引き継ぐ] がデフォルトでチェックされています。このチェックは必ず外してください。



### 5. 言語+地域の更新

GC 2011 設定データベースから [Actions] メニューを開き、[2. Update Language+Region] をクリックします。

#### 6. データベースの複製

複数のサーバーに OnTimeGC 2011 をインストールしていない場合、複製の作業は省略してください。

Group Calendar データベースを同期サーバに複製します。他のサーバ上の API とログデータベースの設計を置換する必要があります。

#### 7. グローバル設定とサーバー設定文書の制御

GC 2011 で設計が変更されている可能性があるため、[Global Configuration] (グローバル設定) 文書と [Server Settings] (サーバー設定) 文書の両方を再保存することをお勧めします。

#### 8. サーバータスクのインストール/更新

[Server Settings] 文書を開き、[Install/Update Task] をクリックします。サーバータスクが更新されている場合は、自動的に置き換えられ、開始されます。現在のサーバータスクが最新である場合、タスクは自動的に開始されません。したがって、サーバーコンソールから手動で起動しておかなければなりません。Linux プラットフォームでのタスクのインストール/更新は、付録 C - Linux プラットフォームでのインストール を参照してください。

#### 9. OnTimeGC サーバータスクをロードします。

サーバータスクが更新されなかった場合は、手動でタスクを開始するようにしてください。[OnTimeGC Commands] メニューから、またはコンソールで “load ontimegc” と入力してタスクを開始します。

#### 10. Notes 2011 インターフェイスのアップグレード

Notes 2011 インターフェイスのアップグレードプロセスは、新規インストールに似ています。違いの一つは、既にインストールされている場合、Lotus Notes クライアントが Notes 2011 を更新する必要があるかどうかを尋ねてくることです。詳細については、「Notes 2011 カレンダーインターフェイスのインストール」を参照してください。

## 付録 A - ACL のセットアップ

以下は、各ユーザが ACL で設定される最低限の権限です。

OnTime GC 設定データベース	
管理者とサーバー	[Admin] ロールを持つ管理者アクセス権限
一般ユーザ	読者権限
Anonymous	アクセスなし
Default	アクセスなし

API データベース	
管理者とサーバー	ReadAll ロールを持つ管理者アクセス権限
ユーザ	作成権限を持つ[作成者]のアクセス権限
Anonymous	アクセスなし
Default	アクセスなし

Log データベース	
管理者とサーバー	管理者アクセス権限
Anonymous	アクセスなし
Default	アクセスなし

Broadcast データベース	
管理者とサーバー	管理者アクセス権限
Anonymous	アクセスなし
Default	編集者権限

Web データベース	
管理者とサーバー	管理者アクセス権限
Anonymous	作成権限を持つ[作成者]のアクセス権限
Default	作成権限を持つ[作成者]のアクセス権限

注：ユーザーのグループにアクセス権を付与するようにし、個別に個人に付与しないことをお勧めします。

GC 2011 のユーザーに割り当てることができる 2 つのロールがあります。

admin ロールは、GC 2011 の設定の責任を持つ管理者のみに割り当てられています。

Discovery ロールは Discovery 2011 カレンダー インターフェイスを必要としている従業員に割り当てられるロールです。日本では未対応です。

OnTime Notes 2011 インターフェイスは、Lotus Notes 8.5.x Standard 版クライアントの Eclipse プラットフォーム上に構築されています。Lotus Notes 8.5.x Standard 版クライアントを展開していない場合には、ブラウザインターフェイスをご利用ください。

## 付録 B - コンソールコマンド

次のコマンドは、OnTimeGC タスクの通常のサイクル以外の別のイベントから起動する場合に使用することができます。

コンソール コマンド	機能の説明
load ontimegc	ontimegc サーバタスクをロードする
tell ontimegc admin	Domino ディレクトリと OnTime カレンダーの設定との間のすべてのユーザーやリソースを同期します。admin コマンドはロール、表示グループ、アプリケーションのデフォルト設定を更新し、GC 2011 に同期されているカレンダーエントリの ACL を読み込みます。 注:1 時間ごとに実行するようにスケジュールされています
tell ontimegc sync	すべてのメールサーバ上のすべてのユーザーやリソースを同期する
tell ontimegc sync name	"name" で始まるすべてのユーザーを同期する (例> tell ontimegc sync peter)
tell ontimegc server sync	"server" という名前のサーバーを同期します。 注: このコマンドは、一般名を読み込み、正規名を読み込みません。例) "Server3/OnTime" ではなく "Server3"
tell ontimegc server sync name	"server" に一致するサーバー上の "name" に一致するすべてのユーザーを同期する。(例> tell ontimegc sync server1 peter)
tell ontimegc fullsync	すべてのカレンダードキュメントの完全な同期が起動されます - 凡例が変更されたときに使用されます
tell ontimegc fullsync name	"name" に一致するユーザーのすべてのカレンダーエントリの完全な同期が起動されます (例> tell ontimegc fullsync peter)
tell ontimegc broadcast	作成されたすべての Broadcast 文書をユーザーのカレンダーに適用する Broadcast コマンドを起動する
tell ontimegc quit	ontimegc サーバタスクをシャットダウンする

### 別のパスから GC 2011 のロードする場合

GC 2011 設定データベース "ontimegc.nsf" が推奨されているのとは違い、異なる名前や異なるディレクトリにインストールされている場合には、サーバタスクは、GC 2011 設定データベースの完全な名前とパスを入力して、サーバーのコンソールを介して手動で開始する必要があります。Fx. "load ontimegc path%ontimegc2011.nsf" . サーバタスクは、手動で notes.ini ファイルに追加したり、または names.nsf でプログラム文書を作成することができます。



## 付録 C - Linux プラットフォームでのインストール

Linux 上での OnTimeGroup Calendar 2011 のインストールは、MS Windows 上での OnTime グループ カレンダー 2011 のインストールと基本的には違いはありません。

Linux オペレーティングシステムによって提供される追加のセキュリティ機構に不慣れなシステム管理者には、いくつか間違いやすい箇所が存在します。このドキュメントの目的は、OnTime Group Calendar 2011 をインストールする際の、これらの間違いやすい箇所を避ける手助けをすることです。

### インストール

MS Windows 上でインストール時にサーバー タスクの配布とインストールは、サーバー設定文書のアクション[Install/Update Task]ボタンによって実行されます。これはセキュリティ対策があるために、Linux 上では実行できません。したがって、サーバータスクを手動プロセスでインストールします。

また Linux は、ファイルパスの大文字と小文字を区別することに注意してください。したがって、すべてのディレクトリおよびデータベースのファイル名を小文字で入力することをお勧めします。

OnTime ディストリビューションと一緒に、'/tasks/linux' フォルダの zip ファイルで、ファイル 'ontimegc' を受け取っているはずですが。

### インストール手順：

1. Linux 上で、通常は/opt/lotus/notes/latest/linux/にあるドミノのバイナリ保管ディレクトリへの書き込みアクセス権限を取得します。
2. FTP または他の方法を使用して、ディレクトリにファイル "ontimegc" をコピーします。
3. タスクの適切な所有権を確認してください。これは重要です。  
owner:group for 'ontimegc' は/opt/lotus/ディレクトリ内の他のすべてのファイルの場合と同じでなければなりません。適切な所有権なしでは、サーバーはおそらくフリーズします - そして、手動で kill とシステム再起動しなければなりません。  
例> root で 'chown lotus:lotus ontimegc' ("lotus"は適切な所有者名です)
4. タスクの適切なモードを確認してください。  
例> owner または root として 'chmod 755 ontimegc' (-rwxr-xr-x)
5. 標準の Domino コマンド "load ontimegc" を入力して、タスクをロードします。

IBM Lotus Domino でも、OnTime Group Calendar 2011 でも、すべてのプラットフォームのバージョンがサポートされているわけではないことに注意してください。IBM の Lotus Domino に関してサポートされているプラットフォームの完全なリストについては、IBM の Web サイトを参照してください。

OnTime グループ カレンダー 2011 は、Linux サーバのみをサポートし、Linux クライアントはサポートしていないことに注意してください。



## サポート

OnTime Group Calendar 2011 のサポートを受けるには、<https://ontimesuite.jp> にお問い合わせください。

あなたが OnTime テクニカル・サポート契約をお持ちでない場合、サポートは <https://ontimesuite.jp> と契約する必要があります。サポートサービスは通常有料サービスです。

以下の情報を記載することを忘れないでください：

- OnTime Group Calendar 2011 のバージョン
- Domino のプラットフォームのリリース
- Notes プラットフォームのリリース
- 問題の説明
- 必要に応じてログファイル

OnTime 製品の詳細については、マニュアルやガイドをダウンロードすることができる <https://ontimesuite.jp> をご覧ください。